



シルバーだより

No. 343
平成 31 年 4 月 1 日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 平成 31 年度の出発にあたって —

理事長 岡田 芳子

平成 31 年度が始まりました。開講・入学式が 4 月 12 日に挙行されます。役員の皆様が準備をすすめて下さっています。

ところでこの 3 月 15 日、平成 30 年度の閉講・卒業式が行われ、卒業生 49 名、奨励賞（10 年学んだ学生）34 名、学長賞（20 年学んだ学生）15 名、理事長賞（30 年学んだ学生）1 名が祝福を受けました。嬉しいことは、このほとんどの方が知的好奇心をもち、更に学び続けることです。

閉講・卒業式に続き、同じ会場で午後交歓会が盛大に行われました。食事をしながら交流が広がり会場は笑いにつつまれました。交歓会実行委員会の皆様、本当にありがとうございました。

さて、昨年度は創立 35 周年という輝かしい伝統を引き継ぎ、様々な行事が盛大に行われました。そして『創立 35 周年記念誌』を発行することが出来、学生の皆様にご協力いただきました。35 周年記念誌は、30 周年記念誌のうえに 5 年間の行事等を中心にまとめました。学生の皆様の様子がよくわかります。新入生の皆様も是非一冊お求めいただき、ご覧ください。（一冊 500 円です）



記念誌の中に「アンケートに見る荒川シルバー大学」というページがあります。30 年度の学生 858 名（男性 145 名、女性 713 名）、回収率は 86%です。学生の最年少は 60 歳、最高齢はなんと 98 歳です。90 歳以上の学生は 17 名いらっしゃいます。アンケートを見ていますと、シルバー大学はすごいなーと思わずにはいられません。広報部の皆様をはじめご協力いただきました委員の方々に感謝申し上げます。

いよいよ 5 月から各教室で学習が始まります。その学習の場は、生涯学習センターの他、区の施設をお借りします。荒川区のご理解、ご協力（西川太一郎区長様、区議会議員そして区役所の各部署等の方々）のおかげです。

高齢化社会のなかにあって、自分らしく生き、元気で生活している自分をほめ、人とのつながりを大事にして今年度も楽しくシルバー大学に通いましょう。

◎2月28日の学芸会は、楽しんで頂けましたか。雨模様にも関わらず約460名の方が見学と応援に駆けつけて下さり会場は熱気であふれていました。学芸会の様子を、写真でご報告致します。





— 福島から来訪された方々 —



《《 俳句教室 秋の吟行会 》》

俳句を始めて、楽しみの一つは吟行です。季節ごとの自然に出会える所へ年に2回出かけます。あまり遠くへは行けませんので、都内の公園や、庭園、植物園などへ出かけます。今回は10月11日、秋の百花園です。今迄に何回か行った所ですが、春の七草、梅まつり、虫ききの会、萩まつり、月見の会と、その時々々の自然を楽しむことの出来る所です。

普段の忙しい生活では、見過ごしてしまうような小さな草花や、木々のたたずまい、鳥や虫、風の音や水の流れにも心を通わせます。皆で同じものを見たり聞いたりしますので、他の人の句を見て、あの時の光景がこんな句になるのかと、自分も見ただけなのにどうしてそんな風に表現出来なかったのかと残念に思うこともしばしばです。景色の変化もそうですが、以前見た時には感じなかった自分の心の変化などもあって、毎回楽しむことが出来るのかなと思います。

さて、今回の百花園はどうだったのでしょうか、次の作品でご想像下さい。

(俳句教室学生 西村 悦)

青北風やつる棚迂回古木打つ
 縹雲一瞬きらり機影かな
 風くぐり草にたはむる秋の蝶
 小さき灯が散らばってゐる吾亦紅
 野の花の幽き光秋深む
 野の花の化身となりし秋の蝶
 身に入むや深夜ラジオの終活談
 日の色を空にかへして秋の園
 茶の花や寄り添ふ小さきつるべ井戸

笙
 智
 とう子
 恭子
 かづ
 芽衣
 郁子
 恒
 京



3月号の問題の解答 初時雨→古時計→閑古鳥→千鳥足→裏千家→大家族→三大橋→七五三

4月の行事予定

12日 (金)	<u>平成31年度 開講・入学式</u>	
一部 <ul style="list-style-type: none"> 1. 開式の言葉 1. 理事長挨拶 1. 新入生紹介 1. 学長式辞 1. 来賓祝辞 1. 来賓紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 新入生誓いの言葉 1. 校歌斉唱 1. 閉式の言葉 	二部 <ul style="list-style-type: none"> 1. 講師の紹介 1. 班編成と役員紹介 1. 講師・新入生写真撮影
会場：サンパール荒川 一階 大ホール 開式：午後2時		



◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 〈3月〉 ◆◆◆◆◆

6日 常任委員会・役員会(募集申込み状況、閉講式について他) サンパール荒川閉講式打合せ 12日 奨励賞・学長賞受賞者他出席確認(地区長・班長) 14日 校旗・徽章・式次第 横断幕準備確認 15日 31年度「学校案内」印刷	15日 平成30年度閉講・卒業式 卒業生 49名 奨励賞受賞者 35名 学長賞受賞者 15名 理事長賞受賞者 1名 感謝状受賞者 2名 19日 広報委員会 20日 講師会 28日 だより343号作成
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※ 事務局だより ※

会場確保に苦慮しつつ、また高齢者の再雇用他の世の動きが当校にどのように影響するのか等、思いのつきない昨今でした。しかし、区や多くの方々からそんな思いを払拭する程のお力添えを頂き、無事新年度を迎えることができました。感謝申し上げます。今年度100歳、99歳をお迎えになる学生さんも在学中です。誇りに思います。事務局からのお知らせは毎月この紙面に掲載致します。お見逃しなくご覧ください。

① 常任委員会・役員会について 4月8日(月)午後0時半～&午後1時半～

・配付書類：開講入学式のご案内カード(新入生=ピンク・在校生=黄色)

・シルバーだより4月号 ・学校案内 ・ファイルと保存袋(新入生のみ)

② 講師会について 4月15日(月)午後1時～ 会場：センター 大会議室

(事務所) TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

(ホームページアドレス) <http://www.arakawa-silver.com/> 室長 田原



シルバーだより

No. 344
令和元年5月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 記念すべきスタートを —

学 長 木村 國子

桜の季節が、あっという間に終わり、爽やかな新緑の季節となりました。4月12日、シルバー大学開講・入学式が行われ、気持ちも新たに平成31年度のスタートを切りました。今年度の新生90名、総学生数828名、33教科39教室での開講となります。更に、講師32名、助手10名、事務局1名が皆さんの学びを助けます。ここに、私の式辞の一部をご紹介します、新年度のメッセージと致します。

新生の皆さん、入学おめでとうございます。年号が「平成」から「令和」に代わる記念すべき年の開講・入学式であります。在校生の皆さん共々気持ちを新たにして頑張りましょう。皆さんは、それぞれの思いと、希望を持って入学されたと思いますが、このシルバー大学の特色は何でしょう？



①自主性を大切にする学校

荒川区在住・在勤で60歳以上、意欲さえあれば誰でも入学出来、何年でも学べます。自分の選択で、何教科でも何教室でも受講できます。行事等の企画・運営は全て学生が主体となって行われます。例えば、開講・入学式、学習発表の場である学園祭・学芸会、閉講・卒業式、交歓会、次年度の募集に至る迄、学生の実行委員会が主体となって、企画・運営しています。

②ボランティア精神に支えられた学校

1年間の受講料1教室5,000円～7,000円。運営費は何教室受講しても1年間8,000円（なお今年度から総ての学生・講師はスポーツ安全保険に加入することになり、運営費を1,000円値上げ致しました）。このように低額の費用で大学が運営出来るのは、講師・助手・事務局の方々のボランティア精神に支えられていることと、区から活動の補助をいただき、施設も安く使わせていただいているから出来ることなのです。

③社会勉強の出来る学校

教室は一つの社会、学ぶことは教科だけではありません。協力し、助け合って、多くの事を成し遂げる社会勉強の機会が沢山あります。教室の中だけでなく、シルバー大学というもう少し大きな組織の中で役割を担うことも良い経験になると思います。

これから1年間共に学ぶわけですが、私の希望をいくつかお話ししておきます。

1. 色々な事情で継続が出来なくなることもあるでしょうが、少なくとも1年間は続けていただきたい。
2. 沢山の友人を作って学校生活を大いに楽しんでいただきたい。

3. 1年間の学びの中で、これだけは頑張ったと自分に言えるものがあるように努力をして欲しい。

最後に、サミュエル・ウルマンの良く知られている「青春」という詩の一節をご紹介します。

青春とは、人生のある時期ではなく、心の持ち方を言う。
人は、年を重ねた時老いるのではなく、理想を無くした時老いる。
希望を失わない限り、80歳であろうと人は青春の中にある。

皆様の青春にエールを送ると共に、これからに期待致します。

●平成30年度の閉講・卒業式が3月15日に挙行されました●

5年間の学習を無事終了し、卒業されました49名の学生の皆様おめでとうございます。加えて、10年間学習を継続され奨励賞を受賞されました34名の学生の皆様、20年間学習を継続され学長賞を受賞されました15名の学生の皆様、そして30年間学習を継続され理事長賞を受賞されました1名の学生の方、誠におめでとうございます。以下に、奨励賞・学長賞・理事長賞受賞者のお名前を掲載いたします。

《奨励賞謝辞》

春のやわらかな光を受け平成最後の閉講・卒業式を迎え、荒川シルバー大学35周年という節目に奨励賞を頂ける事に感慨深いものを覚えます。

シルバー大学で英語1教科一筋に10年頑張りましたが、まだまだ満足いく程には至りません。しかし、人との出逢いに恵まれ感謝しております。

これからも「継続は力なり」という言葉を大切に皆さんと学んでいきたいと思っております。本日は奨励賞を有り難うございました。

(代表 29班 市川 弘美)

✿奨励賞受賞者 (敬称略)

塩澤徳子・大塚榮子・松丸友江・吉原幸子・丸田陽子・吉田祐秀・青木ムツ
辻原貞子・竹本瓊子・中村コト・澤野敏子・金子恵子・関根登志子・太田加代子
塩崎美津江・鳥井充子・宮下しづ子・鯨岡敬子・安藤光子・羽生悦子・小暮和子
市川弘美・佐籐千恵子・川上喜美子・斎藤精二・近藤いさを・伊豆田加代子
伊藤静子・池田ミサ子・宇田川節子・鈴木勝子・竹下貞子・横山陽子・鈴木光子

《学長賞謝辞》

只今、木村学長より学長賞をいただき、感激と喜びで胸がいっぱいです。15名を代表致しまして、御礼申し上げます。

友人に誘われ、どんな大学かもわからないままに即入学し、早や20年の月日が過ぎました。理事長、学長、講師の先生方、学生の皆様、皆穏やかで明るい方ばかりの中で、勉強・運動・歌などなど、すべて今の私の土台になっております。感謝いたしております。これからも、自分が選んだ学びの道を精一杯がんばります。大勢の皆様、本当にありがとうございました。

簡単ではございますが、お礼の言葉にかえさせていただきます。

(代表 19班 小磯 教子)

❖学長賞受賞者（敬称略）

大貫育子・大森万沙・田畑一枝・丸山くに・海野悌子・高林フサ子・小磯教子
中嶋マサエ・川添道子・佐籐ひで・歌川美世子・湯本昌子・田島裕代・
小島富美子・安田静子

❖理事長賞受賞者（敬称略）

布施博子

《《 交歓会について 》》

平成31年3月15日荒川シルバー大学交歓会を、サンパール荒川にて開催致しました。参加者は219名。当初参加申込みが定員を超え、嬉しい悲鳴をあげました。会場担当者から机を増やせば大丈夫との報告を受け安心したこと、昨日の事のように覚えています。食事も弁当形式からグループでシェアするオードブル形式に変更しました。料理が残ったらと不安もありましたが、ほぼ完食でした。

今年の交歓会のテーマは「感謝とふれあい」です。在籍30年で理事長賞を受賞されました布施博子さんへのねぎらいから始まりました。布施さんは、平成元年に入学して30年、まるまる平成時代をシルバー大学で学び、仲間と過ごしました。これからも益々お元気で学生生活を楽しんで下さい。

クイズ大会は、数年実施していますが年々ヒートアップして大変盛り上がりました。次に新しい試みとして、参加者の席を交換して新たな仲間と語り合う交流コーナーを実施しました。皆さん大人ですね。席交換して、数分のうちに打ち解けて話が途切れません。笑い声もいろいろなところから出ていました。



最後は、先生方の余興、今年はコーラスでした。演歌、ブルース、民謡、唱歌、何でもありのオールスターでした。アンコールが何回も出て花を添えていただきました。講師の先生方ありがとうございました。

4月1日、新元号『令和』が発表されました。新しい希望に満ちた時代の始まりです。シルバー大学の更なる発展を祈って筆を置きます。

（ 交歓会実行委員長 田崎 富男 ）

何でも教室よりお知らせ

今年度より「何でも教室」では、教室の学生以外の学生も聴講が出来る事になりました。受講料は1回500円です。5月から9月までのカリキュラムを掲載致しますので、興味のある科目がございましたら、下記 高橋までご連絡下さい。

5月13日 講談 初空襲一葛飾「悲運銃撃善士」 居田正則

6月3日 「ちぎり絵」 米本雅子（教材費別200円）

6月17日 映画鑑賞（大会議室にて）作品未定

7月1日 「防犯について」 荒川警察署

9月2日 「ウクレレとハーモニカで童謡・唱歌を歌う」 小峯新治（音楽室）

9月30日 「紙芝居」 三橋とら

●連絡先 高橋建司 080-5066-0085 ー詳細は事務所の掲示板に掲載予定ー

5 月 の 行 事 予 定

期 日	行 事	講師からのコメント
17 日 (金)	令和元年 第一回合同講義 明治から平成まで 「時代を歌で綴る名曲のアルバム」	春風にのってお出かけ下さい。 懐かしい思い出の曲がお待ちして おります。 歌声クラブ教室講師：本田晴子 同上 助手：高橋建司
会場：サンパール荒川 三階 小ホール 時間：午後 2 時より		

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (4 月) ◆◆◆◆◆

<p>8 日 常任委員会・役員会（開講・ 入学式の件、「学校案内」配付</p> <p>10 日 校旗・横断幕・看板他準備</p> <p>12 日 平成 31 年度開講・入学式 在籍総数 873 名 (内新入生 90 名)</p>	<p>15 日 講師会 予算委員会</p> <p>16 日 広報委員会</p> <p>19 日 規約・名簿作成 印刷へ</p> <p>26 日 創立記念日</p> <p>26 日 だより 344 号作成</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------



※事務局だより※

1. 講義及び講座開始の件：日時・会場は学校案内書類・日程表または学校の
掲示板をよく見て確認して下さい。又教室使用後の掃除、戸締りを確実に
行い、教室で出たゴミは責任を持って各自お持ち帰りください。
2. 教室使用手続き時間の件：生涯学習センター窓口へ
【使用承認書の提出時間】 午前教室：9 時 30 分～
午後 I 教室：12 時 20 分～ 午後 II 教室：15 時 35 分～
【終了後の鍵他の返納時間】 午前教室：12 時まで
午後 I 教室：15 時まで 午後 II 教室：18 時 40 分まで
※時間厳守の上、速やかにお願いします。
3. 「学校案内」訂正のお願い
P.5 平成 31 年度 教室一覧 (水) 料理教室講師名が誤って掲載されてお
りました。正しくは《立川禮子》講師ですので、訂正お願い致します。紙面
をお借りして訂正とお詫びを申し上げます。

※荒川シルバー大学【事務所】開所時間のご案内

(月～金曜日) 午前 9 時 30 分～午後 4 時 ※土日祝祭日はお休みです。

(事務所) TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

室長：田原



シルバーだより

No. 345
令和元年 6月 1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 記念誌完成 —

頭の体操教室講師・広報部長 水越 絹代

『創立 35 周年記念誌』、皆様お読み頂けましたでしょうか？

昨年、私が編集委員長に指名された時、会計の方に「予算はどれくらい？」と尋ねると「予算はありません。記念誌を買ってもらって、それを充てます」と当然の如くおっしゃります。何ともシルバー大学らしいこと…。

幸いにも、パソコン教室の望月先生のご息が印刷関連の会社を営んでいると紹介され、利益度外視で作成して下さいになりました。イケメン社長の望月慎さんは、不慣れな私達に懇切丁寧に原稿の作り方を指導して下さいました。全てデータでのやり取りですので、「次は何をしたらよいのでしょうか？」と教えてもらいながら記念誌作りを進めていきました。

お気づきと思いますが、記念誌の中のところどころに挿入されている素敵な挿し絵は、パステル・絵の具画教室の学生さん達の作品です。永井先生が写真を撮り提供して下さいました。年間行事の写真は、写真教室の学生さんが、記録として行事の際にいつも撮って下さっているものです。



そしてアンケートを集計した結果を見やすい円グラフや棒グラフに作成して下さいしたのは、パソコン教室の望月先生です。このように、編集委員以外の大勢の方のご協力もあって、あの様に素晴らしい 35 周年記念誌が出来上がりました。

役員・講師・教室代表延べ 92 名の方にお願した原稿は、全員の方が提出して下さい、読み応えのある内容で、それぞれの方が抱えているシルバー大学への愛情が伝わってきて私は非常に感激しました。

30 周年に引き続いて 35 周年でも実施致しました全学生へのアンケートは、シルバー大学生の実態が垣間見られて良い企画でした。回収率は 86% であり、アンケートの内容も良かった、と各方面からお褒めの言葉を頂き嬉しい限りです。学生の皆様の様々なご意見は、今後の大学運営の参考になるものと思われま

最後に広報部員として記念誌の編集に携わり、強力に支えて下さいました、朗読教室講師の池田洋子先生、高山順子さん、市川弘美さんに心から感謝申し上げます。そして今年度パソコン教室講師の望月利一先生が広報部に加わって下さいましたこと、心強く思っております。

新しい元号は『令和』となり、平成 30 年度に発行された創立 35 周年記念誌は平成最後の記念すべき記念誌となりました。

皆様、今一度本棚から記念誌を取りだして、じっくりと味わいながらお読みになって下さい。新たな発見と感動に出会えるかもしれませんよ。

❀平成 31 年度の開講・入学式が、4 月 12 日に挙行されました❀

開講・入学式はサンパール荒川大ホールにて盛大に執り行われました。式場の準備・受付・誘導・式の進行には、大勢の役員の方にお手伝い頂き、誠にありがとうございました。今年度も無事に始まることが出来ました。

ここに 3 名のご来賓の方から頂きましたご祝辞の要旨をご紹介します。

●荒川区長 西川太一郎様代理 荒川区福祉部長 片岡 孝 様

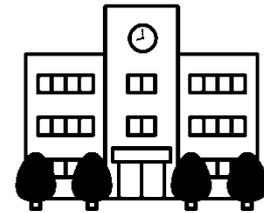
今年度もこのように盛大に開講式を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。「自立心を持って学習に励み、豊かに生きる共生の輪を広げていくと共に、社会貢献に力をそそぐこと」を目的に設立されました

荒川シルバー大学も、今年で創立 36 周年を迎え、本年

は 90 名の新入生を迎えられたとお伺い致しました。

皆様の学習意欲の高さに驚きを隠せず、改めまして、

ここにお集りの皆様に心から敬意を表します。



荒川区の 31 年度予算は「輝く未来の礎予算」と位置づけました。とりわけ高齢者施策の面では、要支援の方を対象に区独自の短時間のミニディサービスを創設し、福祉用具の給付も開始する予定です。どうぞこれからも健康には十分御留意され、住み慣れたこの荒川の地で、充実した日々を過ごされることを願うと共に、荒川シルバー大学の益々のご発展を御祈念申し上げ、お祝いの挨拶とさせていただきます。

●荒川区議会議員 若林 清子 様

90 名の新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。学生さんの中には、お若い頃学びたくても学べなかった、そんな時代の背景もあったかと思います。今では時間のゆとりも出来、学ばれることを楽しんで下さい。

先日、慶応病院の先生から、認知症の予防についてのお話を伺いました。認知症の予防には、1 日 1 回は、おしゃべりをするのが重要だとのこと。人の話を聞いて悲しんだり、楽しんだり、悩んだり。そうした気持ちのありようで、その時に、免疫力を高めるホルモンが出て、これが、認知症の予防になるそうです。

10 月の学園祭には毎年伺わせて頂いておりますが、素晴らしくて、思わず「凄い」と声を上げております。今年も学園祭に向け励んで下さい。区議会と致しましても、シルバー大学をご支援させて頂くことをお約束させていただきます。

●警視庁荒川警察署長 小松崎泰司様代理 生活安全課課長 佐藤 良一 様

良き日に入学式を迎えられましたこと、誠にめでたうございます。今日を第二の人生の出発としてとらえ、より充実した日々を送られますよう祈念致します。

荒川区の治安状況は良好に維持されておりますが、区内の特殊詐欺「おれおれ詐欺」の被害は、昨年は 38 件、被害額は約 7 千万円でした。更に今年は、昨年を上回る危機的状況です。被害にあわれた方は財産を失うだけでなく、家族との会話、信頼も失ってしまう、それを恐れて被害を言い出せない方が居るとい

とです。警察で把握しているよりはるかに被害は多いと思います。

皆様方の、こうした被害を防ぐには、気軽に相談できる素敵なご学友を得て話すことにより被害を防ぐことが出来るかと思えます。私ども警察も頑張ります。

(文責 広報部)

❁ 開講式にご出席頂いたご来賓の方々 ❁

荒川区福祉部長	片岡 孝 様
荒川区議会議長	若林清子 様
警視庁荒川警察署生活安全課長	佐藤良一 様
荒川区高年者クラブ連合会理事長	貴船孝幸 様
荒川区地域文化スポーツ部長	古瀬清美 様
荒川区地域文化スポーツ部生涯学習課長	漆畑研太 様
荒川区社会福祉協議会管理課長	内山順夫 様

《《 健康体操教室を担当して 》》

健康体操教室助手 関口 弘美

ご縁があつて「健康体操教室」の助手としてお世話になって早くも一年になりました。元気で明るい学生の皆さんと勉強できますことは、私にとっても楽しく、毎回元気に通わせていただいております。教室では望月先生のちょっとハードな動きの要求にも学生の皆さんが笑顔で一生懸命助け合つてこなしている姿とチームワークの良さに感心致しております。

40名近い高齢の学生が集まれば、様々な事情が起きてもおかしくないところですが、1年間和気藹々と授業が出来、けがや病気等の話を耳にすることもありませんでした。これは、望月先生への絶対的信頼であり、先生の学生に対する思いやりの深さにあると思えました。学芸会で発表する創作体操づくりでの厳しい言葉、でも裏では、やさしい励ましがあつて、皆さんをやる気に変えていること等。そして、教室代表の目立たない所での何気ない心配りに頭が下がります。また、学生の多くの方は複数の教室を受講されており、教室の終わった後のコーヒータイトムでは、色々な話が聞け、世間知らずの私にとっては、大変勉強になり助かっております。シルバー大学の安価な受講料で、多くの教室が学習できることは年金生活者になった私達にとって大変ありがたいことで、学生数が多いのもうなずけます。



多くの趣味を持つことは友達もたくさんでき知識も広がり生活に退屈することがありません。心にゆとりも出来、豊かな人間関係が築けます。こんな楽しい学校で学生の皆様と今後も長くお付き合いさせて頂きたいと思えます。感謝！感謝！感謝です。

原田治子名誉学長

令和元年春の叙勲【瑞宝双光章】受章に輝く

5月28日（火）国立劇場大劇場において伝達式、次いで皇居における拝謁がおこなわれました。学校長を退かれてからの27年間、当校他におかれましての素晴らしい功績の数々、敬意を表します。荒川シルバー大学と致しましても歴史に刻まれる大変名誉のある受章となり、心よりお祝い申し上げます。



6 月 の 行 事 予 定

期 日	行 事 内 容	講 師
21 日 (金)	<u>令和元年 第二回合同講義</u> 誰もが輝く地域社会を目指して 「トップランナーとしての荒川区の取組み」	荒川区長 西川太一郎様
会場：サンパール荒川 小ホール 時間：午後 2 時より（開場：1 時 30 分）		

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (5 月) ◆◆◆◆◆

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 8 日 常任委員会・役員会
17 日 第一回合同講義 (サンパール荒川)
明治から平成まで
「時代を歌で綴る名曲のアルバム」
講師：本田晴子・高橋建司 | 21 日 広報委員会
29 日 シルバーだより 345 号作成
30 日 高年者クラブ 通常総会
総務部長 山口俊章氏出席 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|



※事務局だより※

1. 7 月の常任委員会・役員会について（3 月まで午後の時間帯となります。）
 常任委員会＝7 月 10 日（水）：12 時半～ 会場：一階 第 1 会議室
 役員会＝ " : 13 時半～ 会場：三階 大会議室
2. 講師会について
 期日：7 月 17 日（水） : 10 時～ 会場：三階 大会議室
3. お願い
 暑くなります。冷房使用の際は、こまめな温度設定を心がけましょう。
 また各教室代表の方は、終了後以下の項目を必ずご確認お願いいたします。
 ① 冷房のスイッチ ② 戸締り ③ 忘れ物 ④ ごみのチェックなど
 (事務所) TEL3801-5740 FAX3801-5691
 (ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/> 室長：田原



シルバーだより

No. 346
令和元年 7月 1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 旅の楽しみ —

東京近郊ミニ散歩教室講師 河合 美津江

信州須坂のひな飾りを見るために、早春の長野電鉄に乗っていた時のことでした。途中の駅から、ボックスシートの隣席に年配の女性が座りました。その方は、アメリカ在住 40 年になること、今回は姉のお見舞いに湯田中まで行く、ということをお話してくれました。私も、娘家族に会いに米国に旅行することがあることを伝えたりするなどして、話に花が咲きました。その話の中で、女性は日本にあってアメリカにないものを 2 つ教えてくれました。1 つ目は温泉があること、2 つ目は、春夏秋冬の四季があること、ということでした。それを聞いたとき、私は日本に住んでいて本当に良かったと思いました。

今から 30 年ほど前になりますが、教育視察でフィンランドの学校を訪問する機会がありました。小学校では、3 年生になると国語に加え、第二外国語(英語)も学ぶ、ということに驚きました。中学校に訪問した折には、中学生がマンツーマンで校内を案内してくれました。私が片言の英語で尋ねたときでも、中学生は流暢な英語で自信を持って答えてくれました。語学の学習に反復練習は大切なことのひとつですが、それに加えて、ボディアクションも欠かせないということも体験しました。中学生に「キートス」(ありがとう)と言い、握手をして別れました。

来年のオリンピックまでにもっと英会話を学習し、少しでも来訪者のおもてなしができれば、と思う今日この頃です。

日々の生活の中で、私たちは様々な人と出会います。人との出逢いで、自分の知らない自分自身を発見することもあります。海外の旅でも、国内の旅でも、私たちのミニ散歩でも、未知への興味や関心を持って出かければ、また新しい発見があるはずです。54 名のミニ散歩教室の学生さんたちと今度はどんな経験(体験)ができるか、毎回楽しみにしています。

「旅」ってほんとうに楽しいことですね。



須坂のひな飾りを背景に

《《 今と昔の歴史散歩教室を担当して 》》

今と昔の歴史散歩教室助手 山下 静江

平成30年度にリニューアルした「今と昔の歴史散歩教室」は、歴史大好き・地図大好きという講師の加藤純成先生が、シルバー大学の学生さん達に是非見せてあげたい、連れて行ってあげたいという場所に出かけています。

昨年度は船の見学から始まりました。1回目は昭和29年にアメリカの水爆実験により死の灰を浴びた「第五福竜丸」、2回目は平成13年に発生した「北朝鮮工作船」事件で引き揚げられた沈没船の見学。係員の説明を聞きながら熱心に聞く学生さん達の姿に感心いたしました。

今ブームのお城や山城にも出かけました。「新しい小田原城と古い小田原城」「石垣山一夜城と山中城」「杉山城跡と保渡田古墳群」等、高低差のある山道を頑張って1時間ぐらい歩きました。「みなさん足が達者ですね」という声掛けに「口が達者なのよ～」と瞬時に返答があり思わず笑ってしまいました。



お楽しみ系のお出かけも幾つかありました。「サッカー観戦」ではプロのサッカー選手の迫力あるプレーを間近に観ることが出来、ボール片手に大いに盛り上がりました。「秩父鉄道に乗って紅葉を楽しもう」ではEL（電気機関車）の中でお弁当を広げ、楽しいひとときを過ごしました。

この1年間学生さん達と一緒に過ごし、何事にも意欲的に活動し、めげずに向かっていく姿に触れ、多くを学び元気をいただきました。これからも『安全第一』をモットーに、楽しいお出かけができるよう心掛けたいと思います。

《《 料理教室を担当した感想 》》

料理教室助手 大島 るり子

一年間、料理教室の助手としての感想は、「搜した」「重かった」「楽しかった」の3点でした。

先ず、「搜した」とは、安くて新鮮な体にいい食材を色々なスーパーに行き、国産品かどうかを確かめたり、値段の比較をする等歩き回りました。そして、なるべく予算に合った、新鮮で安全な食材を安く買うことが出来たときは、安心しました。次に「重かった」とは、その食材をリュックサックで



担いだ時、ずっしりときて、あまりの重さに自分の背丈が縮まるのではないかと思うほどでした。最後の「楽しかった」は、毎回の料理教室のことです。学生さん達とおしゃべりしながらの食事作りは、言いたいことを言い合って笑いの絶えない時間を過ごすことが出来ました。そして、特別な食材を使ったわけでも無いのに、一般的な野菜や魚、時には缶詰を利用して美味しい家庭料理が出来上がるのです。今回作った料理を応用して家で作ってみようなどの感想を言い合いながら、みんなで一緒に味わっています。

学生同士の仲がいいこと、すごく協力的であることで、色々と助けてもらっています。

これからも、「ボーッとやってんじゃねーよ」と言われないように頑張ります！！

《《 5月の合同講義 ―時代を歌で綴る名曲のアルバム― 》》

講師 歌声クラブ教室講師 本田晴子・助手 高橋建司
プロジェクター 加納麗子

初めに岡田理事長のご挨拶の中で、今朝、偶然にラジオで小田和正の「言葉にならない」の楽曲を聴き“あなたに会えてよかった～”という歌詞が今日の合同講義と重なり、「今日は皆さんに会えてよかった。楽しみましょう」とのお話。

司会進行の高橋先生より、本田先生のご紹介があり、歌声クラブは楽しい教室でいつも盛り上がっているそうです。本田先生のピアノに合わせて、明治～平成までの名曲を全員で合唱しました。「ちょうちょ」に始まり6曲ほどの所で一息ついて、本田先生より10問の歌のクイズが出されました。意外に間違えて覚えてしまっている歌が多い事にビックリしました。

後半は「里の秋」など戦前から現在までの歌9曲。この時期の売り上げ枚数の第一位は「およげたいやき君」との事。また、本田先生から呼吸法を教えて頂きました。『口からいっぱい息を吐き出し、鼻からいっぱい吸い込む』と深い息が出来るとの事。平成の曲として「川の流れるように」最後は「お座敷小唄」を合唱し終了となりました。本田先生からのプレゼントとして「ほほえみの天使」のピアノ演奏があり、木村学長の三人への謝辞をもって閉会となりました。



アッという間の1時間で、皆晴れ晴れとした顔で解散しました。

(広報部 市川 弘美)

§ 平成30年度 自分史教室文集「思い出」より2編 §

① ― 素盞雄神社にて ―

素盞雄神社は荒ぶる神。南千住の素盞雄様は795年(延暦14年)、翁の姿をした二神、素盞雄の命と事代主命が神託したとされている。

東京のお盆が終わり蝉が鳴き始めた頃、何時ものように、境内をのほほんとのんきに通りかかった。すると目の端に不審な行動をとる雀を捉え、ふと立ち止まった。見ると雀がタップを踏むように、ツツッと少し離れてこちらを視ている。目を凝らすと目前にエメラルドのようなピカピカ光る丸い虫がじっとしている。私は2、3歩離れ今度はそっと振り返った。すると雀は丸い虫のそばに寄ってまるで遊んでいるようにくちばしを寄せて虫を突っついていた。虫は踏ん張り、雀は突っつく、仲良く戯れている情景だった。

終いには虫をひっくり返し、虫はバタバタと足を動かし元に戻る。そんな事が二度、次に雀は虫をくわえ、ヨタヨタと2メートル程飛んだ。そこで地面に投げ出し、また突っつく。何気なく視ているうち、頭の中で何かが弾けた。雀は雑食であったと、闘いなのだと、生きるための一羽と一匹の本能の闘いなのだと。そしてどちらも助ける事が、私には出来ない事も解っていた。

何もしないでずーと視ていただけの私は、私自身の人生も何もせずに、他人のような顔をして眺めている事が沢山あったのだと思いながら境内を出た。

それから虫がどうなったか。振り向かなかった。振り向けなかった。

只空を見上げた。暑くなりそうな空の色だった。

(虫は黄金虫科のハナムグリの仲間)

(20班 榎本 節子)

② — 「不景気」と「縁台」 —

昭和の初め頃のこと。大人の挨拶は合言葉の様に、「不景気だね」と云いました。私の家族は、父が役所勤めで、母が自宅で小商売をして居りました。店の前に、大小二ケの縁台を父が造りました。小さい縁台は子供の遊び場に、大きい縁台は、おちさん達の縁台将棋に置きました。大きい縁台は空く暇なく、おちさん達に使われていました。

通りすがりのおちさんが、「不景気だね」と声を掛けると、「困ったものだね」と、将棋のおちさんも云います。大人の合言葉の様でした。

私には何だかわかりませんでした。が、余り良いことではないかな、と感じ、母にたずねると、「お前が大人になるとわかるよ」と云いました。「私達子供には関係ないのかな」と思いました。私は4歳でした。 (24 班 中野 俱子)

❀ 8月の「シルバーだより」はお休みとさせていただきます ❀

◆◆◆ 学 園 日 誌 (6月) ◆◆◆

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 5日 常任委員会・役員会 | 21日 第二回合同講義 (サンパール荒川) |
| 平成30年度決算報告 | 誰もが輝く地域社会を目指して |
| 令和元年度予算報告 | 「トップランナーとしての荒川区の取組み」 |
| 監査報告 | 荒川区長 西川太一郎様 |
| 10日 合同講義打合せ | 区民生活部生活安全課長 菊池 秀幸様 |
| 18日 広報委員会 | 27日 シルバーだより346号作成 |

※事務局だより※

1. 講師会について

日時：7月17日(金) 午前10時～

会場：生涯学習センター 三階 大会議室

学園祭の打合せがございますのでよろしくお願い致します。



2. 7月の常任委員会・役員会について

常任委員会 日時：7月10日(水) 午後0時30分～一階第1会議室

役員会 〃 午後1時30分～三階 大会議室

※尚、8月の常任委員会・役員会はお休みとなります。

◆街なか避暑地について：生涯学習センター内でどうぞ！

7/1～9/30まで生涯学習センターを避暑地としてご利用いただけます。

◆夏季休暇について：8月13日(水)～19日(月) 事務所は夏季休暇となります。印刷他用事のある方は20日以降においでください。

TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

室長・田原



シルバーだより

No. 347
令和元年9月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 心と頭で旅をする —

名誉学長 原田 治子

心のおもむくままに文章を書くのは好きですが、シルバーだよりの巻頭文となると気が重くなり筆がすすまない。それは、学生のみなさんに「ああそうか」と感じていただけるものが書けるかどうか自問自答して、すんなりとした気分では書けないからです。そこで考えたことは。

学生のみなさんと接する機会が少なくなった者の巻頭文は、ピンボケになりがちです。常々学校運営に携わっている、包容力豊かな岡田理事長、原則を重んじ緻密な木村学長、二人を支えている望月学長代行。この方たちの巻頭文は誰もが求めています。更に加えて、直接学習指導にあたっている講師、目立たないところで学校を支えている役員、創意工夫をこらしてシルバーだよりを創り上げている広報委員。この方たちの巻頭文が実現すれば、学生のみなさんにとって、シルバーだよりはもっと身近で、親しみのあるものになるのではと思います。いかがでしょうか。

最近、心と頭での旅がふえました。腰痛、視力の衰え、脚のよろつきなど、体の故障で外出がうっとおしくなったからでしょう。長く生きていれば、紡ぐ想い出物語や、描き出す光景も豊富になります。その旅の道すがらは楽しくもあり、淋しくもあり、悲しくもあり。

3歳になって間もなく弟が生まれ、ひとりぼっちで寝かされました。はじめのうちは不安でしたが、いつの間にか「夢見る幼児」になり、一人でいることが楽しみになっていました。横浜港からの汽笛。あのクリーム色の大きな船が出発するんだ。どこの国へ行くのかな。大きなガラス窓から見える空は、工場の溶鉱炉の光が映えて、次第に赤みを帯びていく。日ごとに少しずつ変化していく月の形。満月の夜は空想の世界がぐんと広がる。「満月の中ではウサギが餅つきをする」。「竹取物語のカグヤヒメは月の世界に帰っていった」。ゆっくり時間をかけて話してくれた母。夢見る幼児は、ウサギがついたお餅をカグヤヒメは大よろこびで食べているんだろうな。いつしか私の中では、満月のウサギとカグヤヒメは親しい友達になっていました。



ボンボン時計が9時を打つと鬢(びん)つけ油の香り。私を見守りに来る母の匂いです。髪をきっちり結び上げ、半襟をつけた着物姿の母。寝たふりをして、部屋を出ていく母をおよそ2年ほど見続けていました。お正月には百人一首を朗々と読み上げてくれた母の声もなつかしい。(心と頭の旅第一話おわり)

からだが不自由になったら心と頭で大いに旅をしましょう。

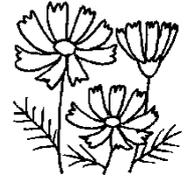
◎平成 25 年に作成されました『昭和の記録』より 1 編掲載致します。

《《 戦争の体験回顧録 》》

14 班 伊藤 慶子 (平成 22 年 9 月 記)

私達昭和初期生れは、物心ついた頃には戦争の時代に入っていったような気がします。昭和 12 年 7 月、支那事変が勃発しました。小学 3 年生頃でした。学校行事で出征兵士を送る会が度々あり、日の丸の旗を持って参加致しました。召されて行く方々は、お国の為にと万歳の声に送られる、そんな日が続きました。

大日本国防婦人会の人達もモンペ姿にタスキを掛けて、兵隊さん達が無事に帰還出来ますようにと、千人針の腹巻を作り武運を祈り送るため、一人一人に呼びかけて晒の生地近千個の玉結びを刺して頂くのに大変だったようでした。寅年生まれの方は、「虎は千里行って千里帰る」と云われ、自分の歳の数だけ玉結びを作ることが出来るので大変喜ばれたようです。大東亜戦争も激しくなり物資も不足して、金や銅やお寺の釣鐘まで供出したようでした。家庭の必需品や食料品も配給制度となり、買物をするのに点数の切符が配布されました。



「欲しがりません、勝つまでは」は国民の合言葉でした。私の兄にも召集令状が来て出征致しました。数日後兄から戦地に行くとの知らせを受け親と一緒に数時間かけて面会に行きました。好物だったものを渡し 2 時間位話をして、別れる間際に明後日出発すると告げられ後ろ髪を引かれる思いで帰りました。その後兄から連絡も無く、家族は今何処にいるのか心配する毎日でした。

そんな矢先、学徒動員で出ておりました私の従兄弟が、神風特別攻撃隊として戦場に向かい名誉の戦死を遂げました。2 階級特進で少尉となりわずか 20 歳でした。叔母の落胆はそれは大変な事でした。悲しみのうち戦禍は悪化する一方で、私達も学校より挺身隊として軍需工場に行きました。配属された部署は勤労課工賃係と云う所でした。人手不足でしたのですぐ指導を受けて事務の仕事につき、工場で働く工員さんの給料計算を致しました。当時はソロバンでの計算で、給料日前に現金を封筒に入れるというとても忙しい緊張の日々でした。手提げ金庫はいつもそばに置いておりました。ある日突然空襲警報が発令され、敵機接近との事で、慌てて事務所の外に避難する時、手提げ金庫を抱えて逃げる途中で敵機が頭上に十機以上も並んで飛んで来て機銃掃射を受け頭をかかえて地に伏せました。今にも背中に弾が突き抜けるのではと、びくびくして生きた心地がなく、その時の恐ろしさは今も脳裏にこびりついています。

東京の空襲も激しくなり、浅草の姉の家族が疎開してまいりました。幸い私の家は農家ですので食糧にはあまり困りませんでした。男性は少々身体が小さな人も皆招集され、私の家で長い間農業を手伝っていたおじさん迄出征致しました。日本も余程大変になって来たなあ、と父が呟くのを聞いた覚えがあります。当時燃料も不足していて木炭自動車走りバスの後ろから煙が出たりしていました。私達もバスで通いました。上司の方に色々学びました。当時一般の工員さんの給料は一か月 40 円前後のようでした。役職のある方で百円以上の方もいらっしゃったようでした。物価も安かったのですが、今振り返ると本当に大変な時期でしたが、皆愚痴もこぼさず老若男女お国の為と頑張ったと思います。浅草の姉の家も 3 月 10 日に戦災に逢い全焼し、本当に無残で見る影もなくなってし

まったと義兄がこぼしておりました。

各都市が次々と戦災の被害を受けてその方面の空を眺めると真っ赤というか、随分と焼かれている様子が伺い知れて気の毒に思われました。

広島・長崎と原爆が落とされ大変な被害を受けてやっと 8 月 15 日終戦となりました。暫くして姉夫婦も東京の焼け跡を見に行き、見渡す限り焼け野原の余りのひどさに啞然として立ちすくんでしまったと話していました。私達も軍需工場から解放されて戻りました。本当にあの当時は落ち着いて勉強も出来ず社会に振り回されていました。私の兄も出征して 4 年数か月音信不通でしたが昭和 21 年 12 月 26 日帰還致しました。家族一同ほっと致しました、本当に長い戦いでした。

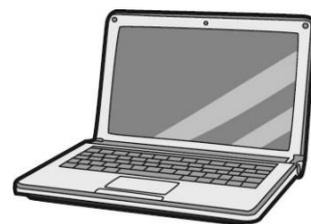
今こうして元気にシルバー大学で楽しく勉強出来ます事に感謝しつつ、再びあのような事が起こりませんように、今の平和の世が続くことを祈ります。

《《 パソコン教室を担当しての感想 》》

パソコン教室助手 栗原 博

昨年、望月先生が声をかけて下さり三年ぶりに教室に復帰させて頂きました。講義内容が、ペイント等を利用したコラージュ作品作り(応用Ⅰ)やパワーポイント・ムービーメーカーを利用した動画作品作り(応用Ⅱ)とレベルアップになり、分かり易く説明出来るか不安でしたが、顔馴染みの学生さんが質問など気さくに声をかけて下さり、大変助かりました。

また、シルバー大学の運営には全くの無知でしたので年間の行事を把握したく、開講・入学式、講師会、学園祭、閉講・卒業式等、体験させて頂きました。その折、役員・講師の方々の熱心な活動ぶりを拝見・拝聴し、活力をいただいた一年でした。



今年元号も新たになり、望月先生の良きアシスタントとして少しでもお役に立てるよう学生さんと一緒に勉強し、健康に留意しつつ努めたいと思っています。

《《 社会科見学教室より 》》

社会科見学教室助手 堀内 邦雄

こんにちは、社会科見学教室の堀内と申します。当教室は今年度 10 年目になりました。学生は、今年度の名簿を拝見したところ約 100 名（今年度在籍者＋過去年度の在籍者）の方達を数えました。また、見学(訪問)個所はバス旅行 5 回を含めて延べ 100 個所（複数回の所あり）にのびりました。

学生数も当初 35 名から年々増えまして現在 66 名です。従いまして見学個所の選定に大変苦慮しているのが現状ですが、常に新しい所に出かけて“見る・知る・学ぶ”をモットーに実践しております。最近話題の認知症予防の一環としてコミュニケーション作りの在り方を、大勢の仲間と歩くこと・話すこと・食べることを重点に、元気に、無事故で楽しい思い出づくりに貢献していきたいと思えます。

最後に健康であることは、いかに人とのネットワークを増やし、繋げるかに掛かっていると考えます。今後共よろしくお願い致します。

9月の行事予定

期日	行 事	講 師
27日 (金)	第三回 合同講義	
	ピアノと朗読のコラボレーション ことばとメロディを花束にして	朗 読：池田 洋子(朗読教室講師) ピアノ：三枝三枝子(器楽教室講師)
	《朗 読》	《ピアノ演奏》
	「悲 劇」 宇野千代作 「転 生」 志賀直哉作 「おかあさんの木」大川悦生作	Lemon 米津玄師 ノクターン作品9-2 ショパン エリーゼのために ベートーヴェン
会場：サンパール荒川 三階 小ホール 開演：午後2時（会場：1時半）		

◆◆◆学園日誌 7月・8月◆◆◆

7月10日 常任委員会・役員会

7月17日 講師会

7月26日 陶芸教室 令和2年度日程表作成
(教室清掃依頼)

7月31日 学園祭茶菓子券準備

8月1日 社協：福祉団体運営助成に
伴う書類作成

8月20日 広報委員会

20日 荒川区「まるごとシニアガイド」
掲載原稿作成

26日 学園祭共催依頼書作成

26日 学園祭区報掲載依頼書作成

30日 シルバーだより347号作成

第18回 荒川区高年者芸能大会について

開催日時：10月10日(木) 開演：午前9時45分～午後4時半

開催場所：サンパール荒川 大ホール

シルバー大学より 輪踊り民舞教室 参加



※事務局だより※

① 学園祭について：期日10月18日～20日(金土日)の3日間

会場：ムーブ町屋3階及び4階ギャラリー

9月以降、各教室は展示作品や発表の準備等宜しくお願い致します。

◎茶道教室発表は19日(土)となります。茶菓子券は1枚¥300です。
(教室毎にご集金の上、10月2日(水)の役員会会場にて会計担当へ
お渡しください。)

◎陶芸教室チャリティは20日(日)となります。

(事務所) TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

(メールアドレス) arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp

(ホームページアドレス) arakawa-silver.com/

室長・田原



シルバーだより

No. 348
令和元年 10月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 最近の出来事 —

学 長 木村 國子

私は近頃、携帯電話を主に使い、あまり固定電話を使っていないが、その固定電話がめずらしく鳴った。

「台東区役所の〇〇というものですが、保険金の累積過払いについてのお知らせが届いていると思いますが、、、？」

心の声（台東区役所は、いろいろお世話になっているので、気持ちを引き締めて対応しなくては。しかも、過払いとは。お金が戻って来るかも知れない）。

そこで、私、「エッ！気付きましたでした！」（どこかに置き忘れたか、捨ててしまったか、少々心配になる）。

「緑色の封筒ですが、、、」（ますます不安になる。でも、念のために、こちらから問い合わせようと思い）「お名前なんと言いましたか？何課ですか？」。すると、何と相手は、「、、、ガチャン！ツーツーツ」。

振込詐欺だったのか！危なく引っかかるころだった！それにしても、なんと巧妙な事。亡き夫と深い関係があり、庶民の身近な区役所を騙るとは、、、。

電話といえば、携帯電話。特にスマホを購入してからは、写真撮影、ネットからの情報収集、漢字や語彙や英語を調べる辞書として、また、電車の時刻を調べたり、メールをしたりと、とても便利に使い、私には無くてはならないものとなっている。今のところ、トラブルに遇ったことはないが、何か問題がおきた時は、これだけ普及していれば影響も大きいことだろうと考える。何事もそうだが、便利なものに囲まれ恩恵を受けているが、長所だけでなく短所も十分に考え、機械に使われるのではなく、機械を使う賢さを忘れずにいたい。

最近の新聞によると、AI(人工知能)に人生相談をして悩みを解消してもらったり、恋愛の相手をしてもらったりなどの研究まで進んでいるような、、、。

さて、我がシルバー大学の皆さんは、自分の頭と、体と、感性を使って、自分らしさを発揮し、日頃の努力の成果である作品や、活動ぶりを見ていただこうと、学園祭の準備を進めている。毎年感じる事だが、自分たちのコーナーを案内する係の人たちの顔は、日頃の活動の様子を知っていただきたいという思いに溢れ、輝いている！

シルバー大学を知る良い機会になると思う。ぜひお誘い合わせて、ご来場を！



今年度から「源氏物語・文学散歩」と装いも新たにした私達の教室では、6月26,27日に、源氏物語ゆかりの地を訪ねて、京都の旅に行き、源氏物語の理解を深めてきました。

初日は宇治の平等院、源氏物語ミュージアム、宇治上神社を訪問しました。宇治といえば、源氏物語の宇治十帖の舞台です。まず、平等院鳳凰堂の優雅なたたずまいに感動し、平安時代の貴族達が憧れた極楽浄土を現した庭園を眺め、日頃の汚れが清められていくような気持ちになりました。宇治川の流れを眼下に望みながらの昼食、午後は源氏物語ミュージアムへ。

平安時代の女房たちが、後宮で暮らす様子が再現され、アニメで紹介された源氏物語を観て、より親しみが感じられました。その後、神社建築としては現在最古とされる宇治上神社を参拝して、京都に向かいました。夕食は京都の町家造りのお店。旅の初日の感動に賑やかに話の花が咲きました。



二日目はツアーに加わり、貴船神社、上賀茂神社、嵐山、伏見稻荷を訪問。午後からは梅雨の雨にたたられました。その雨をものともせず、嵐山での自由時間に、野々宮神社まで足を延ばしました。野々宮神社は、光源氏と六条御息所の別れの舞台です。雨に煙る道筋の竹林は、まさに風情豊かな美しい景色でした。

教室では早くも、来年は長谷寺、室生寺に行こうという話で盛り上がっています。
(源氏物語・文学散歩教室代表 田原 眞生)



《《 「スポーツ安全保険」 に関してのお知らせ 》》

今年度より、学生・講師・助手全員が保険加入となりました。一括加入手続きの後にも、これまで4月以降に中途入学された学生の保険加入の手続きを毎月おこなってまいりました。

このたび9月の常任理事会におきまして、8月以降に中途入学された学生に関しましては、手続き上の関係から、保険付加はおこなわないということに決定致しましたので、ご報告致します。

(福利厚生部)



《《 自然と小さな旅教室より 》》

自然と小さな旅教室助手 松本 タキ子

自然と小さな旅教室のお手伝いを始めて今年度で4年目になりました。奥多摩などでネイチャーガイドの資格を持つ講師の箭内先生に、植物の様々な知恵を教えていただきながら楽しく進めています。

今年度は5月に殿ヶ谷戸公園、6月はサクランボ狩り、武田神社、7月は皇居東御苑を旅しました。事前のミーティングでは、行くところに因んだ学習をするのですが、7月は江戸城に関連して、江戸時代に奨励された商品作物、四木三草（桑・楮（こうぞ）・茶・漆、麻・藍・紅花）の学習をしました。

旅先については、初めて行くところもあり、人によっては二度、三度と訪れたことのあるところもあります。しかし、その日、そのときに出合った自然はまさに一期一会、初めての感動があり、全く同じ旅などないのです。

知的好奇心を持ち続け、いつも心を新鮮に保つこと、謙虚に人から学ぶこと、などなど。実りある人生を送るために大切なことを、教室の先輩の皆様から毎回教えていただいております。

これからも人や自然からたくさんの感動をもらいながら楽しんでいきたいと思っております。



何でも教室よりお知らせ

「何でも教室」の10月から来年3月までのカリキュラムを掲載いたします。
会場：生涯学習センター3階大会議室他 時間：午後3時40分からです。
1回500円で聴講できます。興味のある方は、下記 高橋までご連絡下さい。

- 10月7日 「文学の面白さ、奥深さ～《ごんぎつね》」
折り紙・絵本教室講師 石崎恵子
- 10月28日 「みんなで歌おう」4階 音楽室
歌声クラブ教室講師 本田晴子
- 11月18日 「写真百話」
写真教室講師 戸叶恒夫
- 11月25日 「フルーツと共に歌を楽しもう」4階 音楽室
英語教室講師 木村國子と仲間たち
- 12月2日 「仏教と神道」
眞養寺住職 染山教大
- 12月16日 「話芸あれこれ」
元小・中学校長 石畑栄一
- 1月20日 「マジックの実演」
荒川マジッククラブ
- 1月27日 「講談」
頭の体操教室講師 水越絹代
- 2月3日 「人生100年時代にむけて」 荒川区保健所（無料）
- 3月2日 「自転車屋の新井会長と震災と支援と」
荒川区自転車商小売組合会長 新井 茂

●連絡先 高橋建司 080-5066-0085 ー詳細は事務所の掲示板に掲載ー

10月の予定

学 園 祭

18日 (金) 展示：13時30分～17時

19日 (土) 展示：9時30分～17時

※「お茶席」は19日のみ 受付10時～14時 (受付した方、終了までお席あり)

20日 (日) 展示：9時30分～15時

※「陶芸チャリティ販売会」は20日のみ、11時～14時30分



学園祭設営等に関する注意点

※17日 (木)	学園祭前日	取付作業	10:00～
		搬入希望教室 4階へ	13:45～16:00
◆18日 (金)	各教室作品の展示準備 (華道教室以外)		9:30～11:00
	その後 華道教室の生花を展示		11:00～12:00
	《開会式》	会場：3階 ムーブホール	13:00～13:30
◆19日 (土)	「お茶席」	会場：3階 ムーブホール	10:00～
◆20日 (日)	「陶芸チャリティ販売会」	ハイビジョンルーム	11:00～14:30
	《閉会式》	会場：3階 ムーブホール	15:00～15:30
	※閉会式終了後、華道教室から片付け開始		15:30～17:00
	華道教室終了後、指示によりほかの教室片付け		

会場：ムーブ町屋 3・4階

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (9 月) ◆◆◆◆◆

4日 常任理事会・役員会 (学園祭他・お茶席券発売開始)	17日 広報委員会
5日 学園祭ポスター作成	26日 シルバーだより 348号作成
5日 合同講義プログラム作成	27日 第三回 合同講義 ことばとメロディを花束にして
17日 合同講義打合せ (サンパール荒川)	講師：池田洋子・三枝三枝子

※事務局だより※

① 10月の教室について

- ・英語教室(金)：10/11(金)は都合により中止、12/6(金)に変更となります。
- ・書道・火曜教室：8日(火)と16日(木)となります。

② 11月の公開教室のお知らせ

11月は各教室の授業をどなたでも見学できます。来年度の申込の参考になさってください。変更のある場合がありますので、見学の前に事務所へお問い合わせください。

事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

室長 田原



シルバーだより

No. 349
令和元年 11月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— それも、これも —

朗読教室講師 池田 洋子

「自分の感受性くらい」などでお馴染みの詩人、茨木のり子さんの作品に、「汲む—Y.Y に—」という一編があります。紹介しますね。

『大人になるというのは／すれっからしになることだと／思いこんでいた少女の頃／立居振舞の美しい／発音の正確な／素敵な女の人と会いました／その人は私の背伸びを見すかしたように／なにげない話に言いました／初々しさが大切な／人に対しても世の中に対しても／人を人とも思わなくなったとき／墮落が始まるのね 墮ちてゆくのを／隠そうとしても 隠せなくなった人を何人も見ました／私はどきんとし／そして深く悟りました／大人になってもどきまぎしたっていいんだな／ぎこちない挨拶 醜く赤くなる／失語症 なめらかでないしぐさ／子供の悪態にさえ傷ついてしまう／頼りない生牡蠣のような感受性／それらを鍛える必要は少しもなかったのだな／年老いても咲きたての薔薇 柔らかく／外に向かってひらかれるのこそ難しい／あらゆる仕事／すべてのいい仕事の核には／震える弱いアンテナが隠されている きっと…／私もかつてのあの人と同じくらいの年になりました／たちかえり／今もときどきその意味を／ひっそり汲むことがあるのです』

この Y.Y さんという方は木下順二の「夕鶴」を長く演じた女優、山本安英さんです。茨木さんは、活字でない山本さんの唇を通して出た言葉に大変な衝撃を得たと…。



私はこの詩に出会い、ほっとしたものです。今のままの自分でいいのだなど。心が痛む時、穏やかでいられない時などは、私にも震えるアンテナが隠されているかしらと思いつつ『年老いても咲きたての薔薇』のようでありたいと感じたものです。

年経て今、汲むということの意味、人の心を汲むことの意味をあらためて問うている自分がいます。感じ方の質にも変化が起きてくるものなんですね。「自然体であれ」「私は私…」と、時々ほっそりと自分を褒めたりご褒美をあげたりして此の先も、行きつ戻りつ、オロオロ・オドオドしながら歩いていきます。それもこれも、みんな愉しみ…。

★9月の合同講義では拙い朗読を聴いて頂き感謝申し上げます。ピアノの音色と会場の皆様の息づかいが感じられ朗読者冥利に尽きます。紙面をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

生涯学習センターで行われている荒川囲碁同好会に参加し囲碁を楽しんでいた。廊下に通称「荒川のお化け煙突」の絵画が飾ってある。作者は尾身周三画伯。画伯は数日前に亡くなられ葬儀も終わったばかり。私と同じ町会の役員、仲良くしていたので、特別な思いで絵に見入っていた。

突然声をかけてきた人がいた。私が荒川シルバー大学へ入学を希望していると思ったようで、事務所に案内された。自分史教室に興味があったので、事務所へ伺うと田原室長さんがおられ、お話を聞いて頂いているうち、私が「91歳で今更勉強は」とひるんでいたところ、「何を言いますか、自分史教室には98歳、93歳と長寿の方がいます。他の教室にも90歳以上の方が熱心に学んでおられます」と勧められ入学した。

最初の授業では、野口先生のご指導のもといきなり、谷川俊太郎の「生きる」「二十億年の孤独」の詩を読んで、それぞれの「生きる」を20分で詩を書いて提出するように言われた。俳句等はやっていたのだが、私にはすぐには思うように出来なかった。皆様の作品は、達者な表現、内容も見事。私は生まれて間もなく戦争、敗戦、食糧難、進駐軍、復興、成長、バブルの崩壊、グローバル化、日本はどうなるか？と。自分史教室の学生数は19名。私は小学校も男子組で大学卒業まで一貫して男子校。教室には、なんと妙齢の令和夫人16名と高齢の男子3名。今の心配は、この環境に慣れるのか、ということ。今は戸惑っているが、授業の終わりには、「荒城の月」「船頭小唄」等全員で歌ったりして面白かった。

(自分史教室 小林 和夫)

《《 写真教室の感想 》》

写真教室助手 小野寺 淳二

写真教室の助手として、戸叶先生と共に月平均2回の授業があります。一回は教室で写真の魅力、楽しみ方などを学び、もう一回は東京近郊に出て四季折々の風景・花・スナップなど撮影実習を行います。アドバイスは、ピントのしっかりした写真を撮ること。状況を見て光と影を意識したり、これと思ったら視点を変え何枚も撮っておくことです。デジタルカメラで誰でも気軽にきれいに撮れる時代だからこそ、皆様とのコミュニケーションを大切にと心掛けています。



現場では、「こう撮ったら？」「カメラの位置を変えるだけでこんな写真が撮れるよ」など、その場で画面を見せ合って確認できるのがデジタルの強みであり、会話もはずみます。

撮った写真を次の教室で一人10枚程度スクリーン、又はプリントで披露し、先生の講評を受けますが、同じ場所へ行っても、これだけ視点が違う写真を見られるのは、学生も私も大いに勉強になります。

学園祭や写真展で自分達自慢の写真を多くの方に見てもらえる機会があるのも魅力です。この様に気心の知れた仲間と笑顔で接し、向上し合うことのできる写真教室の雰囲気は私は大好きです。

総合消費料金未納分訴訟最終通知書

管理番号 123

この度、貴方の未納されました総合消費料金について、契約会社及び、運営会社から、訴訟申し入れされたことを本状にて通知いたします。

・・・中略・・・

民事訴訟及び、裁判取り下げなどのご相談に関しましては当センターにて承っておりますので、下記窓口へお問い合わせください。

尚、個人情報保護の為、ご本人様からご連絡頂きますようお願い申し上げます。

民事訴訟管理センター

東京都千代田区霞が関3丁目・・・

消費者相談窓口 03-63・・・

受付時間 9:00～18:00（日・祝を除く）

皆様のご自宅に左記のようなはがきが届いていませんか？

これは、六月の合同講義でも話が出ました、**架空請求詐欺**のはがきです。

電話をかけると訴訟費用として80万～100万円を請求されます。

そんなお金はないと言うと、訴訟取り下げ費用として5万円を請求されるそうです。

（警察署で聞きました）

絶対に電話などせず、無視するか警察に届けて下さい。

被害が増加していますから、くれぐれも騙されないように

気をつけましょう。（広報部）

🌟10月18日から20日までの3日間 令和初の学園祭が開催されました🌟

参加した教室の講師の方からのメッセージを順次掲載致します。

●今と昔の歴史散歩教室 加藤 純成

10月11日(金)学園祭の資料作成の日、教室代表の用意した模造紙に「ああだ、こうだ…」言いながら、班ごとに写真を貼ったり説明文を考えたりしていました。とても賑やかです。すると「あっ、Fさんが写ってる」。昨年11月秩父に向かう列車の中の座席に、Fさんが写っていました。実は、一週間前にお亡くなりになったのです。今年は一度も参加できませんでしたが、去年は元気に参加していたのでした。ご冥福を、お祈りします。

●パソコン教室 望月 利一

コラージュ。色々な画像を切り貼りして新しい作品を作り上げること。

教室では、短い期間ではありましたが、パソコンを使用してコラージュ作品創りに取り組みました。ワードを使った静止画も、コラージュにすると、とても変化のあるおもしろい作品に仕上がります。また、今年はパワーポイントを使用して、動きのある映像も作成しました。学園祭では、その学習の成果をご覧頂きました。来年はもっと進化した作品が見られるかもしれません。乞うご期待！

●頭の体操教室 水越 絹代

何げない日常の風景や出来事も、「あいうえお作文」にすると、作者の見た情景やその時の心情が、物語をもって、読んだ人の心に伝わってくるように思います。言葉の感覚も磨かれます。学生さん達は「難しい」「出来ない」と言いながらも、今年も多く傑作が生まれていました。体験コーナーは、楽しんで頂けましたか？3日間で280名の方の脳を活性化させて頂きました。来年もお楽しみに！

❀ 朗読教室 第8回 発表会のお知らせ ❀

今を生きて ～ 八雲と清張を読む ～

- ◎日 時 令和元年 11月 14日 (木)
午後 2時開演 (開場 午後 1時 30分)
- ◎会 場 サンパール荒川 3階小ホール
- ◎プログラム 詩「生きているということは」 (永 六輔作)
「おしどり」他 (小泉八雲作)
「証言」 (松本清張作)



お知らせ・荒川区交流都市フェア (にっぽり秋まつり) について

期日：11月 10日(日) 場所：日暮里駅前イベント広場

午後 1時よりシルバー大学フラダンス教室の方々が出演します。



11月の教室公開のお知らせ

11月は、各教室の授業をどなたでも見学できます。令和2年度の申込の参考にしてください。但し、日程・会場に変更のある場合がありますので、事前に事務局にお問い合わせの上、ご見学ください。 連絡先☎3801-5740

◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (10月) ◆◆◆◆

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 2日 常任理事会・役員会
(学園祭・親睦会の件等) | 15日 広報委員会 |
| 学園祭お茶席券販売締切日 | 18-20日 学園祭 ムーブ町屋 3・4F |
| 7日 都電ポスター貼り (有志)
7日～20日 | 20日 都電ポスター取り外し (有志) |
| | 31日 荒川区功労者表彰式 |
| | 31日 シルバーだより 349号作成 |

※ 事務局だより ※



1. 荒川区功労者表彰式について

この度岡田芳子理事長が「特別功労賞」を受賞、また推薦団体として推薦致しました布川春江さん、料理教室の立川禮子講師、折り紙・絵本教室の石崎恵子講師が「社会教育功労賞」を受賞、10月 31日 (木) 表彰式が行われました。おめでとうございます。

2. 学園祭の件

令和元年度の学園祭が無事終了致しました。過去最強級の台風 19号に見舞われた直後の学園祭となりましたが、3日間で約 1,500人の入場者をお迎え出来たことは嬉しい事です。ご協力を賜った区の皆様方、そして講師・役員・学生各々の熱意の集約した素晴らしい学園祭でした。

※令和 2年度の学園祭開催日は 10月 16・17・18日(金・土・日)です。
(事務所) T E L 03-3801-5740 F A X 03-3801-5691
(メールアドレス) arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp 室長・田原



シルバーだより

No. 350

令和元年 12月1日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

理事長 岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

— 令和元年の終わりに良い未来を祈念して —

俳句教室講師 田中 京

今年もあとひと月足らずで暮れようとしています。毎年師走の忙しさの中で、1年を振り返るのもこの時期のことです。私事になりますが、今年、令和元年は忘れられない年となりました。

この夏、私はほんの一瞬の不注意で躓いて足の小指の下の踵骨を折り、ギブスを嵌められ松葉杖で歩くことになってしまいました。それからの日々は何をするのも不自由で、無為の日々を過ごし、世の中の人の親切が身に沁みました。

例えば車椅子用のトイレのない建物では、夫が女性用のトイレの中まで付き添えないため、私が一人で車椅子を上手く操れず困っていると、さっと押して下さる方がいたり、整形外科で松葉杖で扉に向かっている時、待合室に座っている人がさっと立って開けて下さるといった具合なのです。そんな時私は丁寧にお礼を言い、自分に問いました。私は今までこんな風に周りの困っている人に気付き、さっと手を貸すことができていたかしらと。このように松葉杖や車椅子を使うようになって初めて見えてきたことがいろいろあったのです。



今まで学んできたことに中に、コミュニケーションで大切なことを、ボールのやり取りを例に挙げて、自分が良いボールを投げれば相手も良いボールを返せるが、悪いボールを投げたら悪いボールが返ってくるから、いつも良いボールを相手に投げるよう心掛けなさい、というのがありました。でも、今年の足のけがで私は、さらに自分の周りへの気付きと想像力を働かせることの大切さを学びました。周りに助けを必要としている人がいたら、自分がどんなことができるかと思いを巡らせられるようになりたいと思いました。

そしてもう一つ今度の経験で学んだことは、いつまでも若いつもりでいても体は確実に老化しているから、年齢相応の自覚が必要だということです。こんな当たり前前にも気付かず走り続けて来たので、立ち止まってゆっくり考える良い機会になりました。人生の晩年に差し掛かって来て、物事が何でも思い通りに行くわけではない事を十分理解しました。体力の衰えに加え、物覚えの悪さも痛感し、年を取る事への不安が増しました。

でも、そんなことで下を向いてはいられません。私達に続く世代の人達のために、世の中が少しでも良い方向に向かうよう祈念し、微力でも自分達にできることを見つけていかなければと思うのです。まずは自分の周りの人に良いボールを投げることから始めるのはどうでしょうか。

《《 9月合同講義 「ピアノと朗読のコラボレーション」を聴いて 》》

講師 朗読教室 池田洋子・器楽教室 三枝三枝子

「ことばとメロディを花束にして」と題したプログラムは、三枝先生のやさしく美しいピアノ演奏で、米津玄師作詞作曲の「Lemon」から始まり、会場の皆さんと一緒に「森の水車」「少年時代」を先生のピアノに合わせて元気な声で合唱しました。

池田先生の朗読は、前半が宇野千代作の「悲劇」と志賀直哉作の「転生」で後半は大川悦生作の「おかあさんの木」の3作品でした。先生からは、それぞれの作品の紹介や作家の生涯、私生活でのエピソードなどの楽しいお話を交え、作品ごとの情景豊かで迫力のある朗読に感動いたしました。

また、岩手弁の語りの「おかあさんの木」は、親しみやすく朗読の技法の奥深さを感じました。朗読は映像のない世界であっても、先生の朗読によって聴く人の心の中にその情景が描き出され、その世界に自然と心が引き込まれました。



三枝先生のピアノは始まりと終わりの米津玄師の「Lemon」の他に、ショパン作曲「ノクターン作品9-2」とベートーヴェン作曲「エリーゼのために」の合わせて3曲の演奏でした。ピアノの音色のやさしさ、美しさに心が癒されると共に、時には力強く、時には穏やかな優しい音色は感動的で時の経つのも忘れてしまいました。また、演奏の間の曲の紹介等素敵なお話も楽しむことができました。

お二人の先生の美しいピアノの音色と朗読との息の合った素敵なお話は、ここでしか体験することができない夢のような心地よい楽しいひとときでした。まさに、思い出に残る素晴らしいことばとメロディの花束は、お二人の先生からの素敵な贈り物でした。
(朗読教室 富永 教)

《《 「長寿慶祝の会」に参加して 》》

9月16日の敬老の日に荒川区では、「長寿慶祝の会」の式典がサンパール荒川大ホールにて3回に分けて開催されました。(満75歳以上の方へ招待状が配られました)荒川区の100歳以上の高齢者は9月16日現在、100名(男性10名、女性90名)。全国では、7万1238名おられるとのことでした。

当日は雨の中にもかかわらず、車椅子等で家族と共に大勢の方が参加され、西川区長やご来賓の方々からご祝辞を頂き、関係箇所からはお祝いの言葉やメッセージが寄せられました。その中で、高齢者の生きがいや健康づくりのために活動している団体として「荒川シルバー大学」も紹介されました。私は学生の一人として誇らしく思うと同時に、区民の皆さんに荒川シルバー大学をもっと知ってもらふ工夫が必要ではないかと感じました。



荒川区在住の神山兄弟による津軽三味線演奏を聞き、お祝いの品として、社会福祉法人「トラムあらかわ」、障害者施設「かがやき」の方々の心のこもったお菓子を頂いて帰宅しました。
(広報部 高山 順子)

今月も学園祭に参加した教室の講師の方からのメッセージを掲載致します。

●写真教室 戸叶 恒夫

・年度はじめに、教室の年間予定と年2回の作品展(学園祭・自主展)の確認をします。学生は毎月の撮影会や個人旅行の中から候補作品を準備します。一点を選ぶこと、タイトルを考えることには苦勞するようです。

・学園祭の準備は、教室代表を中心に有志の協力でレイアウト・台紙の用意・前日準備・展示・片付けとスムーズに作業を進めています。

・8年目を迎えた写真教室です。これからも「ここを見て下さい」を気にしながら、撮影を楽しんでほしいと思います。



●水墨画教室 結城 秀翠

描く物によっては毎回仕上がりにません。8月は休講ですので、全員にお声を掛けて3,4人のグループに分け、のべ50時間位掛けて助言し仕上げました。お教室では人数も多いため余りお話も出来ませんので、お互いに心を開いて和気藹々と楽しい時間を共有しました。一日にして成らずです。積み重ね、継続は力なり、継続する事が上達の秘訣かと存じます。最近では皆、ぼかし・白ぬき等にとっても興味を持ち、少しずつ上達していてこれから益々楽しみです。

●水彩画・絵手紙B教室 遠藤 光胡 〈長い付き合い—学園祭〉

振り返って、多くの生徒が入学して絵筆を握り、まさに少年少女に逆戻りしたように熱中する姿に接し、何としても一日でも早い上達を使命と覚えて邁進してきました。令和元年を迎え、その思いに伝えてくれた学園祭。素晴らしいの一言に尽きる3日間でした。来年も、又その次の年も・・・学園祭バンザイ！！

●料理教室 立川 禮子

料理教室は料理を作って食べるのが活動の内容なので、展示には工夫が必要です。料理を毎回写真に撮って、おいしそうに撮れたのを選んでそのレシピを資料として作成しようと相談して決めました。限られた予算でおいしい物を作るには、会計系の助言も必要。助手、教室代表の考えとパソコンを活用した展示も効果が大きく、パソコン教室で腕を磨いている大島るり子助手によって、昨年より効果的な展示ができたと言っていました。

●自然と小さな旅教室 箭内 忠義 〈苔玉と寄植え〉

季節はなによりもやさしい道しるべ。紅葉が山々を赤やオレンジ色に染め始めている10月。ここシルバー大学学園祭の会場でも苔玉や寄植えの紅・橙・黄・緑の草木が自己の存在を勝ち誇るかのように主張しています。あたかも幽玄な山の奥深くに分け入った気持ちを抱きます。自然と小さな旅では毎年苔玉と寄植えを作っています。上手下手は関係ありません。一つひとつに癒されるのです。

●パステル・絵の具画教室 永井 克巳

パステルは、指一本で擦るだけで、グラデーションが簡単に表現できますが、それを効果的に画面に表現することは難しいのです。やはり、何回も経験を積まないと通った通りにはなりません。学生さん達は、その難しい課題に悩みながら積極的に製作に取り組んでくれました。学園祭でその成果が現れることを期待しています。

●折り紙・絵本教室 石崎 恵子

今年も折り紙の色紙作品を出品しました。体調不良でお休みのお二人を除き、32名全員が挑戦し、見事な作品を仕上げました。

昨年までの作品をスライドにして皆で見合い、イメージを広げながら、各自あれこれ取り組む作品を考えました。花が中心ですが、そうでない独創性の高い作品、立体の作品もありました。班長さんを中心に励まし合う姿が感動的でした。名札に、各自の想いを一言添えました。見て頂けたでしょうか。出来栄えだけでない感動がもうひとつ広がりました。

●陶芸教室 羽二生 みどり

10月の学園祭に向けて、学生さん達は7月から作品づくりを始めていました。夏の暑い日も窯場の開放日には集まり、作陶をしている人、釉薬を掛けている人、窯を焚いている人と小さな窯場に人があふれていました。時には作り方を教え合ったり釉を何にしたらいいか話したりとみんな協力的でした。学園祭では、日々の作陶の成果をご覧頂きました。最終日の陶芸チャリティーも無事に終了しました。来年に向け今から作陶に励んでいます。

お詫び 11月号の「シルバーだより」で、写真教室助手の先生のお名前が間違っておりました。正しくは、小野田淳二先生です。お詫びして訂正致します。
(広報部長 水越)

◆◆◆◆ 11月の学園日誌 ◆◆◆◆

6日	常任理事会・役員会 (学園祭反省他年度末交歓会の件)	20日	区報掲載申込書作成 会員募集…1/21 掲載予定 学芸会…2/21 掲載予定
6日	令和2年度年間講義日程 センターへ申請	28日	シルバーだより 350号作成
19日	広報委員会	29日	令和元年度支払調書作成 講師依頼書作成

※ 事務局だより ※

1. 講師会について

日時:12月17日(火)午後1時～ 会場:大会議室

2. 12月の変更教室について

パソコンⅠ・Ⅱ教室は12/17(火)から12/10(火)に変更となります。
英語教室は12/6(金)と12/13日(金)となります。

※年末年始の「事務所のお休み」は12/27(金)～1/5(日)となります。

新年また元気で会いましょう。

(事務所) TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

(メールアドレス) arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp

(ホームページアドレス) arakawa-silver.com/



室長・田原



シルバーだより

No. 351
令和2年1月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 新しい年を迎えて —

理事長 岡田 芳子

あけましておめでとうございます。

新しい年明けです。私はいろいろな書類について平成と書き、「あっ、令和だ」と書き直すことがよくありました。皆様ちょっと前の年号言えますか。……安政・万延・文久・元治・慶応・明治・大正・昭和・平成・令和となり早いもので、令和二年一月です。

この令和に決定するのに政府が「元号に関する懇談会」と全閣僚会議などで示した原案は、令和・万保(ばんぼう)・万和(ばんな)・広至(こうし)・久化(きゅうか)・英弘(えいこう)で、新しい年号が「令和」に決定しました。そして、令和二年一月を迎えました。



私はまだ令和になれず書類にまちがえることが多かったのですが、最近は「令和」または「R」と書けるようになりました。平成になりたては「昭和は遠くなりけり」と言っていたのですが、今シルバー大学の方々は99%が昭和生まれです。百歳時代と言われていますが「人生の幸福は健康」です。どう健康で生活するかは、そう簡単なことではありません。大事なことは今日一日に感謝して過ごすことだと思います。

年の初めです。大きくとも小さくともいいですから目標を持ちましょう。昨年ノーベル化学賞に輝いた吉野彰先生は、『目標に向かって努力すること』と話されていました。当たり前のような簡単なことのように思いますが、あきらめずに努力することは難しいことです。



とりあえず、三つ位目標を立ててみましょう。今日一日の目標・一か月・一年というように。私の一年前の目標を見ると、

①一日三人以上の人と話をする ②一日5000歩以上歩く
③漢検六級の練習をする(5年前に十級から始めたのです)。今年は五級です。今年もこれでいいかなと思うのです。もし付け足すなら、オリンピックを何か一つ生で観たいということです。でもマラソンは北海道にいつてしまいました。無理ですね。

皆様、今年も健康で一日一日を大切に過ごしましょう。

●絵手紙 A 教室 中島 愛子

ムーブ町屋のエレベーターを出ると前方にカラフルな絵手紙のお花畑が、という感じでした。さまざまな題材、色彩、描法、言葉に作者の思いや個性が溢れていたと思います。

絵手紙教室では、描く題材は各自で用意するのですが、私も見えそうな草花や絵手紙のサンプルなどを提示しています。今迄の例では、貝殻やガラスの浮玉、苗代苺などが人気でした。それらを描いた展示作品もあり、多少はお役に立ったかと思っています。



●俳句教室 田中 京

出品作品は主に今年度の句の中から自選句を提出していただき、相談の上決めました。それを短冊に墨書し、作句の動機や思いについて簡単なコメントを添えて提出するようお願いしました。皆さんのコメントを二枚のプリントにまとめ、作品展示の際、机に置きました。例年俳句を見に来て下さった方の中に、読んでもよくわからないという声があったからです。プリントは来場者のみならず、出品者の側にも説明の上で役に立ったようです。

●自分史教室 野口 和歌子

元号が令和に代わり、日本の新しい歴史の1頁が始まった年。自分史教室にも新しいエネルギーが時代から注がれて、自分の人生にまた1つ新しい人生の節を作り、その節からしっかりと更なる自分の人生を築いていきたい、そうした思いが教室一杯に溢れていました。学生時代、『人に歴史あり』というテレビ番組が好きで、毎週見ていましたが、今年の学園祭の皆様の展示は、正に『人に歴史あり』のテレビの放映を見ているようでした。



●華道教室 内藤 眞澄

ムーブ町屋4階の広い会場両側に生けられた多彩な花々の光景は、盛観でありました。華道の展示席はくじ引きで決めており、一年目の人も十数年目の人も隣り合う展示席もあり、よりよい作品に生けたいという思いが、一人ひとりの個性豊かな作品展示となりました。また、生花を生ける為開会式当日、会場で一時間以内に生けあげる皆さんのパワーに驚かされ、今年の成果が作品となりました。

●社会科見学教室 堀内 邦雄

祝・10周年の展示を行いました。10年の歴史は重く(約100箇所訪問)、なかなか思うように資料収集が出来ず、やや中途半端になってしまった感は否めませんでした。毎年、学生の協力によりメインに好評のリースを飾り、各訪問先の情報を集めてスッキリ、楽しく振り返ることが出来ました。

当教室は、新たな訪問先の思い出(感動・感激)づくりにチャレンジしつつ増々の充実を求めていきたいと思っています。今後共、ONE・TEAM力(ちから)を発揮し、GO!GO! ご協力ありがとうございました。

●源氏物語・文学散歩教室 中山 幸子

去る6月26、27日の京都文学紀行を中心に、二班に分かれて展示をしました。一班は、平等院・源氏物語ミュージアム・宇治上神社・宇治神社等。二班は、貴船神社・上賀茂神社・下鴨神社・野宮(ののみや)神社・竹林の道・伏見稲荷神社等。一、二班とも、色彩豊かな写真と的確な説明により、素晴らしい展示ができました。なお、当日の来場者に対する説明も、日頃の学習の成果を十分に発揮することができ、好評を博しました。

●何でも教室 高橋 建司

毎回受身の姿勢で受講している何でも教室ですが、学園祭では教室の感想文、そして「ちぎり絵」作品を展示しました。感想文によると、初めての映画鑑賞「ビルマの豎琴」が好評でした。前半だけで20数名の特別参加者があり、更に充実した教室を目指したいと思います。来年度1回目はオードリー・ヘップバーン主演「ローマの休日」を上映します。もう一つの教室として、受講を歓迎します。



●書道金曜教室 八嶋 セツ子

今年も共作したいという声が多く、百人一首を選びました。今教室で練習している「かな」を42名が一丸となって制作するのが目標です。最初は「書けない。出来ない」という声もありましたが、練習を重ねているうちに夢中になり、一人残らず参加しています。学園祭当日、展示された作品の中から自分が書いた歌を探し、見つけた時はとても感動したそうです。今年は、苦しみ・感動・希望も味わった楽しい学園祭でした。

●硬筆教室 野口 和歌子 〈練習風景〉

学生の皆様がペンを執って練習を始めると、その素晴らしい集中力で、教室全体に心洗われる静寂が生まれます。皆様、本当に熱心に練習され、1字1字心を込めてお書きになるので、その上達も目覚ましく、人に感動を与える作品が出来上がっていきます。来年の学園祭の練習を今から始めている方もいらっしゃいます。そして、皆様仲が良く仲間を大切にされるので、教室は笑顔と温かい雰囲気一杯で、教室に行くのが毎回楽しみです。

🌸 令和元年度シルバー大学交歓会について 🌸

閉講・卒業式後の交歓会を、今年度も下記要領にて実施致します。
多数の方のご参加お待ちしております(教室ごとの申し込みになります)

1. 日時 3月18日(水) 午後1時~3時30分
2. 会場 サンパール荒川 3階小ホール
3. 会費 4,000円(食事・飲み物代含む)
4. 参加申し込み締め切り 1月31日(金)



◆◆◆◆◆ 12月の学園日誌 ◆◆◆◆◆

- 4日 常任理事会・役員会
(令和元年度学芸会・交歓会
令和2年度募集の件他)
- 16日 広報委員会
- 17日 令和2年度募集要項作成
- 17日 講師会
- 20日 令和2年度年間日程打ち合わせ
(生涯学習センター)
- 26日 シルバーだより351号作成

※事務局だより※

1. 令和2年度受講生募集受付について

◆外歩き関係「下記4教科」を含む申し込みについて(新規希望者のみ)

①今と昔の歴史散歩 ②自然と小さな旅 ③社会科見学

④東京近郊ミニ散歩

受付日:2月7日(金) 時間:午後1時~3時

◆29教科「上記4教科以外」の募集 (土日祝日を除く)

受付日:2月10日(月) 時間:午前10時~午後3時

受付日:2月12日(水)~20日(木) 時間:午後1時~3時

(申し込み会場について)

生涯学習センター内です。(正面玄関に会場を掲示)

(費用について)

運営費については、複数の教科を受講されても1年間一律¥8,000です。

受講料は、1教科1年間5,000~7,000円です。

(申込用紙について)

「継続申込書」=1月の役員会終了後、地区班長が配付・・・在校生(白色)

「新入学申込書」=1月より玄関ポスト前に設置・・・・・・新入生(水色)

2. 令和2年度の開講教室の曜日・時間帯は下記のようにしております。

/=午前・午後の時間帯区分 ◎=午前と午後の授業あり

(月) ◎水彩画・水墨画 / 器楽・硬筆・何でも・フラダンス

(火) 歌声クラブ・書道火曜・◎陶芸・パソコン・ミニ散歩 / 自分史・日本の話芸

(水) 自然と小さな旅・社会科見学・料理 / 頭の体操・折り紙絵本・写真

(木) 絵手紙A・華道・◎朗読・輪踊り民舞 / 絵手紙B・おしゃれニット木曜・健康体操・俳句・源氏物語文学散歩

(金) 英語・書道金曜・おしゃれニット金曜 / 今と昔の歴史散歩・気功・茶道・パステル絵の具画 (土) 音楽 /

注記:上記に変更のある場合は、改めてお知らせ申し上げます。

年末年始のお休み:12月27日(金)~1月5日(日)

(事務所) TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

ホームページ : <http://www.arakawa-silve.com>

室長・田原



シルバーだより

No. 352

令和2年2月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 個性が輝き響き合う大学 —

学長代行 望月 公子

二月は、一年中で一番あわただしい月です。

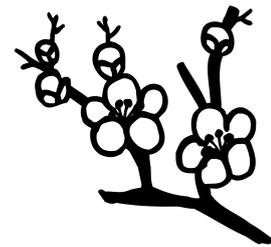
それは募集という行事が一か月間に亘って行われるからです。シルバー大学の学生は、継続して同じ教室で勉強することも、別の教科を選ぶことも、更に複数の教室に所属することも自由です。

こうした選択の多様性が募集に参加する学生に活気を与えるのでしょうか。学校全体が躍動しているような雰囲気を感じずる月です。この期間は、教室代表、地区班長達が交代で受け付け事務の処理に当たって下さいます。

更に、33教科・38教室の講師には、実力、指導共に秀でた力のある先生が揃っていますし、学生の個性や意欲を汲み取り伸ばすことを楽しみに講義の準備をしておこなっています。

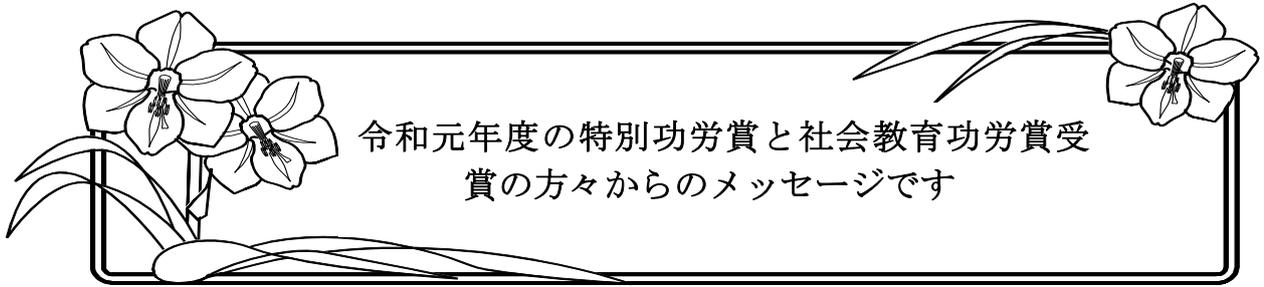
日程や手続きについては、募集要項に従って下さい。シルバー大学は36年前に荒川区民が創った高齢者の為の学校であり、運営・経営共学生が行っている全国でも珍しい学校です。ですから、シルバー大学に入学するという事は、自身が経営者の一人になるということでもあります。

荒川区には、60歳以上の方が6万人以上在住しています。皆さんの身近に心当たりの方がいらっしゃいましたら、是非声をかけて入学をすすめて下さい。



また二月は学芸会の月でもあります。学園祭の静的内容の発表とは異なり、学芸会は、動的内容の発表です。学生ひとりひとりが学びの成果を堂々と舞台上で演ずる姿には、胸を打たれるものがあります。学生同士誘い合ってサンパール荒川に出向いて下さい。

教科や教室での学習・地域活動や合同講義や各行事といった様々な出会いの中で、学生の個性が輝き、響き合い、ふくらんでいく荒川シルバー大学の二月になりますように！！



令和元年度の特別功労賞と社会教育功労賞受賞の方々からのメッセージです

あなたは永年にわたり荒川シルバー
大学理事長として高齢者の社会参加
と生涯学習の推進に尽力するとともに
荒川区教育委員会委員長を務め
られるなど本区の教育行政の発展に
多大な功績をあげられました
ここに荒川区特別功労者として表彰
します

令和元年十月三十一日

荒川区長 西川太一郎

理事長 岡田 芳子

左記の通りこのたび荒川区特別功労賞
を戴きました。定年退職して二十年、文
言の通り社会と関わって本日を迎えた
ただ感謝です。身にあまる賞を戴きこ
れからも社会と関わって意義ある日常
を過ごすようにという激励だと思います。
学生・役員の皆様からの褒美だとも思
います。これからも共に豊かに生活して
まいりましょう。

ありがとうございました。

《《 荒川区功労賞を受けて》》

料理教室講師 立川 禮子

荒川区功労賞受賞の通知を受け取った時、大変驚きました。夢にも思った事が
なかったので、思わず原田名誉学長に確かめてしまいました。

改めて荒川区での私の仕事を考えました。埼玉県に住んで、荒川区で人生の仕
事の大部分をして、その中で多くの事を学び、一人前に育ててもらったと感じて
います。

荒川シルバー大学で料理教室を受け持つ事では、最大の努力をしましたが、そ
れが荒川区に役立ったという評価を頂いたのは、感謝でいっぱいです。「健康で活
動できる高齢者でいられる事を目的に設立されたシルバー大学」という場を与え
られたからこそと感謝致しております。シルバー大学の学生さんたちと同様に私
も沢山の事を学ばせて頂きました。ありがとうございました。

《《 ありがとうございました 》》

折り紙・絵本教室講師 石崎 恵子

この度、荒川区より社会教育功労賞を戴いて参りました。講師として、常任理
事として、皆様に助けられながら楽しくやらせて頂いてきただけのことなのに、
一つの形として自分の中にも思い出が刻まれることとなりました。有難うござい
ました。

当日は会場で、大勢の区の職員が出迎えて下さって、歩き進む先々でおめでとうと、声をかけて下さるのです。受賞者は各分野から全部で 113 名もいらっしゃいました。一人一人の区民の存在を大切に、地域を高めていこうという区長の姿勢がここにも表れていることに感心し、また、荒川シルバー大学が区の地域社会の教育文化の一翼を支える存在であると認めて頂いてきたことを改めて思います。高齢者のための学びの場として、益々発展していくよう努力したいと思っています。

町屋地区 35 班班長 布川 春江

まだシルバー大学に入学する以前のことでしたが、亡き主人を手伝って、学園祭のポスター作りをしたこと等が、走馬灯のように思い浮かんできます。当時町屋地区長だった夫とポスターを作り終わると、二人で自転車に積んで、各駅に貼って歩き、学園祭が終ると、またはずして回りました。

毎年 18 枚程作るのを 5,6 年続けたような気がします。間もなくして主人の後押しもあり、いよいよシルバー大学に入学することになりました。班長、そして教室代表を務めさせて戴き、このたび「社会教育功労賞」受賞の運びとなりました。感無量であり感激の気持ちでいっぱいです。

これからも、元気で少しでもシルバー大学に貢献できるように頑張っていきたいと思います。よろしくお願い致します。

《《 「日本の話芸」教室の講師を受けて 》》

令和 2 年度講師 石畑 榮一

私は、この度三浦勇伯先生のご勇退に伴い、理事長・学長先生方のご要請ご推薦を受け、又、教室の皆様のご支持により、次年度の講師を受けさせて頂くこととなりました。

私は元々趣味で落語や講談等を演じておりましたので、平成 23 年度からこの教室に入りました。その時の講師は、塚田義介先生で、お人柄も円満で優しく、合同講義で浪曲会を企画されるなど大変熱心な方でした。そして塚田先生が急逝され、後を継がれたのが三浦先生で、篤実で面倒見のよい方ですので、私達も安心して活動することができました。

しかし、両先生に比肩して私などは、自分が演じることにのみ執心しておりましたので、他の方々を導いたりお世話したりする力量は少しもございません。それでも教室の皆様は、協力するから是非と声を掛けて下さっています。

私としましても、幾らかでもこれまでの経験を活かしていきたいと思っておりますので、今後とも宜しく願います。

因みに、荒川区は落語や講談等話芸に所縁も多く、今もプロの芸人さん達も沢山住んでいらっしゃいます。「話芸」は人間の喜怒哀楽を表現し、人間性を豊かにしてくれる芸能です。是非皆様も奮ってご参加下さい。



● 東京近郊ミニ散歩教室 河合 美津江

4月の会合でミニ散歩の計画を配布し、学園祭は10月なので、5月から9月までの散歩担当を5班(日暮里・南千住・荒川・町屋・尾久)で話し合っ決めて。担当になった班は、写真を中心に資料などを集めます。まとめは生涯学習センターを借りたり、月1回の説明日に早めに来たりしてまとめていました。4回目の展示発表でしたが、年を重ねる毎に写真や文字やイラストなど読みやすく工夫して素晴らしいです。来年も期待!

◆◆◆◆◆ 1月の学園日誌 ◆◆◆◆◆

6日	荒川警察署武道始め式 (山口副事務局長 出席)	24日	荒川区高年者クラブ新年会 (山口副事務局長 出席)
8日	常任理事会・役員会	27日	令和2年度年間日程申請(区へ)
21日	広報委員会	30日	シルバーだより 352号作成

※事務局だより※

1. 令和2年度募集受付 期日・時間・会場 について

- ① 2月7日(金) (午後1時~受付抽選) 受付会場: 第一会議室
《外歩き4教科の受付となります。同時に他の科目の受付も可能です》
- ② 2月10日(月) (午前10時~午後3時) 受付会場: 第3会議室
- ③ 2月12日~14日(水~金) (午後1時~3時) 受付会場: 第3会議室
2月17日~20日(月~木) (午後1時~3時) 受付会場: 第1会議室他
《2/10~20日はすべての教科の受付が可能です》

◆追加申込について: 初回の領収書をご持参下さい。(運営費の重複支払を防ぐ為)
※募集要項をよくお読みになり、申込書にご自分で必要事項を記入の上、受講料を添えてお申し込みください。

※受付当番の方へ: 当日は印鑑《領収書に押印》をご持参ください。

◆希望教室が定員を満了し次第、締め切らせていただきます。

◆新入学と継続申込用紙の色: 在校生は白色、新入生は水色です。



2. 「水彩画・絵手紙」教室 発表会のお知らせ

会期: 3月3日(火)~3月9日(月)

時間: 午前10時~午後6時(初日は午後1時~、最終日は午後4時まで)

会場: 町屋文化センター ふれあい広場(二教室共、会期・時間・会場は同じ)

(事務所) TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

室長: 田原

令和元年度 荒川シルバー大学 学芸会プログラム

日時：令和2年2月28日（金） 午前9時50分～午後4時35分
会場：サンパール荒川 3階 小ホール （受付開始：9時20分）

出演教室： 器楽 朗読 歌声クラブ 日本の話芸 フラダンス
輪踊り民舞 音楽 健康体操 英語 気功

No.	教室名	内容	予定時刻
	開会式・挨拶	理事長 岡田芳子	9:50～ 9:55
1	器楽	1. 野に咲く花のように 2. 森の水車 3. 高原列車は行く 他2曲	10:00～10:25 (25分)
2	朗読	いま出逢う ふたつの命 星野富弘 相田みつを ふたりの渡良瀬川	10:30～11:10 (40分)
3	歌声クラブ	思い出昭和スクリーン主題歌特集 1. 東京行進曲 2. 旅の夜風 3. りんごの唄 4. 東京キッド 5. この世の花 6. 喜びも悲しみ も幾年月 ※その他会場の皆さんと歌う	11:15～11:45 (30分)
4	日本の話芸	1. 寿限無 2. シルバー川柳 3. 小咄 4. 笠地蔵	11:50～12:15 (25分)
5	フラ・ダンス	1. エフリマコ 2. 月の夜 3. 南国の夜 4. パパリナラヒラヒ	12:20～12:45 (25分)
	(昼休み)		12:45～13:35 (50分)
6	輪踊り民舞	1. 荒川音頭 2. につぼん音頭 3. 真室川音頭 4. ダンシングヒーロー 5. 炭坑節 (皆様と)	13:35～14:00 (25分)
7	音楽	1. 茶色の小瓶 2. グリーンスリーブス 3. 赤いサラファン 4. 銀色の道 5. あなたの心に	14:05～14:30 (25分)
8	健康体操	1. 安来節 2. アメージンググレース 3. ロザリア 4. おもちやのチャチャチャ 5. 黄色いリボン 6. 見上げてごらん夜の星を	14:35～15:00 (25分)
9	英語	英語劇「白雪姫と7人の小人」 劇中歌「Heigh-Ho!」「いつか王子様が」	15:05～15:45 (40分)
10	気功	1. 耳のツボ (肝臓強化のツボ) 2. 内養功 (60以上の病気の予防と治療) 3. 香功・中級 (腰痛、膝の痛みの予防と改善)	15:50～16:20 (30分)
	閉会式・挨拶	学長 木村國子	16:20～16:30



シルバーだより

No. 353
令和2年3月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 誰かのために —

頭の体操教室講師・広報部長 水越 絹代

ある所におばあさんがいました。おばあさんは病気で余命三か月と診断されました。先はもう長くないことを察した彼女は、次第に自己中心的な態度をとり始めました。見舞いに来てくれた家族や看護師に横暴な態度をふるい始めたのです。自分は今すぐ死ぬのだから、まわりの人は自分に尽くしてくれて当然、といわんばかり。容姿も気にならなくなって、なりふり構わず、お化粧品も一切なくなっていました。

そのおばあさんがある朝、ふと窓の外を見やった時のことです。彼女の目に映ったのは、疲れ切ったサラリーマン達の姿。おばあさんはそこで、「人生に絶望しているのは、自分だけではないんだ」ということに気づいたのです。

元来、陽気で活発な性格の彼女は、その翌日、看護師に頼みました。化粧を整え、車椅子を外に出し、押しってもらうことを。会社へと急ぐサラリーマンの一人一人に「行ってらっしゃい」とほほえみかけていったのです。

最初は、何のことも戸惑っていたサラリーマン達も、次第にニッコリと笑顔を返してくれるようになりました。彼女にも、疲れ切って曇った顔だったサラリーマン達の顔にほほえみと元気が戻ってくるのが、手に取るようにわかりました。

これが嬉しくて、サラリーマンへの朝の挨拶はこのおばあさんの日課となりました。そしてそれが生き甲斐となってか、おばあさんは医師の予測より倍以上も生きたといいます。(諸富祥彦著「生きていくことの意味」より引用)

人間は、人とのつながりなくして“生きている喜び”を感じることはできません。自分のことを必要としてくれる誰かがいる。そして、その誰かのために、自分にもできることがある。このことほど、私達の生きる意欲を喚起してくれるものはありません。

3月18日(水)は、荒川シルバー大学の今年度を締めくくる大事な行事であり令和初となる『閉講・卒業式』です。5年の卒業証書、10年の奨励賞、20年の学長賞、30年の理事長賞(今年度は該当者なし)、更に今年は、100歳を迎えた学生への長寿賞の授与式があります。一年間勉強を共にしてきた仲間たちに、「おめでとう」の一言を伝えるため、一人一人が会場に足を運び祝福してあげましょう。

それがまた、お互いにとって次の一年を続けていける励みになることでしょう。



《《 福島復興支援ツアーに参加して 》》

令和元年11月20日朝7時30分、荒川を出発して東北道を走ること約5時間。あの日から8年経った「福島」に到着しました。日本は美しい国です。そして、私達にとって大切な福島なのです。テレビ、新聞その他各方面からの報道によって、それなりに分かっていたつもりの方々の福島の実情、しかし、来てよかった福島でした。

未だ続く東京電力福島第一原発の震災事故による放射性物質の空中飛散、その風評被害。このことはご当地の皆様にとって大きな問題として、今も尚苦しんでいることを改めて知らされました。今回、福島市の取り組みに関心を持つ機会に恵まれ、「その行政」は、人体への影響に勿論力を注いでいました。その一つ『JA ふくしま未来』では、ご



当地すべての農作物の厳しい放射性物質のモニタリング検査が行われ、その結果が行政、生産者、地域の人達に日々公表され、福島産の食の安心安全を発信。このことは、当然生産者の「やる気」へと繋がります。その安心安全をアピールする為に、ご当地リンゴのピューレづくりを体験させていただき、美味しさにおみやげ決定。又、『福島観光物産館』では、「福島産の産物でつくりました」と、安心安全を商品にこめて陳列し、販売されていました。

「頑張っている福島」「負けない福島」、皆さんの力が結集した8年に触れることができました。何より福島のことを身近な問題として考える機会に恵まれました。

これからは、子供達や地域の人に、福島産の食の安心安全を伝承していきます。そして、福島のご発展を祈念申し上げます。

福島市の皆様、荒川区文化交流課の皆様、この度のツアーでお世話になった皆様、ありがとうございました。

(東京近郊ミニ散歩教室 草野・小泉)

寄付金のご報告

学生・講師の皆様にご協力頂きました『令和元年度の学園祭』における陶芸チャリティーの収益金より30,000円と、フラットフラットでの別途売上金11,090円を、令和2年1月14日に荒川区を通じて「日本赤十字社」へ寄付致しましたことをご報告致します。

(理事長 岡田 芳子)



ご協力ありがとうございました



《《 俳句教室 「秋の吟行会」 》》

俳句教室「秋の吟行会」は11月28日に行われました。当日は雨でしたが「あいにく」の雨という言い回しは俳句ではしません。「おりから」の雨といって雨さえ良い句材にしてしまいます。

場所は「日比谷公園」と「帝国ホテル」。日比谷公園については説明するまでもありませんが、まさに日本の政治、経済、文化の中枢にある「大都会のオアシス」。丁度大嘗宮の一般公開期間とあって皇居の方から入場者へのアナウンスが風に乗って届きます。公園内では花壇、噴水、多くの記念碑、江戸城の史蹟、そしてそれらを彩る紅葉の素晴らしさに心を奪われました。イチョウの巨木やモミジ等々、黄、赤、緑の葉が池の水面に映り二倍の美しさです。



そして次のお楽しみは帝国ホテルのランチバイキング。日本のバイキング発祥の店とあって気合いが入っています。家庭ではちょっとお目にかかれないような食材や手の込んだ料理、豊富なデザートに舌鼓を打ち、何回もカウンターと座席を往復し堪能しました。17階の窓下に初冬の大都会の景色が広がっているのを鑑賞したのは、とりあえずお腹が満足してからでした。各自この日の感想を次のように詠みました。

気高さやメトロポリスの冬薔薇
ちんまりと菰巻のある心字池
鷺一羽凍雨にけぶる心字池
啄める鳩の背を打ち銀杏散る
朱に燃えて水面を染める冬紅葉
シャンソンの流れるテラス木の葉降る
時どきはひとりがよろし石菫の花
木漏れ日に透けて燃えたる冬紅葉
ちらほらとやさし小枝に冬桜
鶴噴水囲む紅葉の雨に濡れ
移ろひゆく紅葉の色や水鏡
大都会冴ゆワイングラスの紅も冴ゆ
はらはらと葉の舞ひ落つる冬の朝
木の葉髪水に映りて心字池
冬紅葉池噴水を引き立たせ
冬の雨心穏やか心字池
今を咲く勇氣十月さくらかな

智
とうこ
恭子
悦
文
かづ
謡
藤子
朋子
笙
洋子
恒
みつえ
麗子
信
知恵子
京



(俳句教室代表 横須賀 とも子)

三月の行事

平成31年度 閉講・卒業式

日時： 令和2年3月18日（水） 午前10時～
会場： サンパール荒川 3階 小ホール

一部

1	開式の言葉	7	学長賞授与
2	敬礼		受賞者謝辞
3	理事長挨拶	8	長寿賞授与
4	卒業証書授与 答辞		受賞者謝辞
5	学長式辞	9	感謝状授与
6	奨励賞授与 受賞者謝辞	10	校歌斉唱
		11	閉式の言葉
		12	敬礼

二部

- 1 記念撮影

※今年度限り、新型コロナウイルス感染拡大が懸念されるため、
出席者は各受賞者・常任理事・講師とさせていただきます。

★学芸会・交歓会中止のお知らせ★

2月28日に予定されていた「学芸会」及び、3月18日に予定されていた「交歓会」は、新型コロナウイルスの流行が懸念される時期であり中止となりました。

◆◆◆◆ 2月の学園日誌 ◆◆◆◆

1日	令和3年度学芸会会場申請(施設部)	21日	臨時講師会(学芸会中止決定)
1日	閉講・卒業式受賞者名簿作成 閉講・卒業式出席案内カード作成	22日	交歓会実行委員会 (交歓会中止決定)
5日	常任理事会・役員会	25日	臨時常任理事会
7日	～20日 令和2年度募集受付	27日	シルバーだより353号作成
18日	福利厚生委員会・広報委員会	27日	企画部打合せ

※事務局だより※

1. 令和2年度の募集申込み受付について

2年度の募集受付が無事終了致しました。区の生涯学習課、福祉高齢者課および広報課、施設管理課、生涯学習センター他、皆様より多大なるご協力をいただき心より感謝申し上げます。また役員の方々には、お手伝い頂きありがとうございました。

2. 受講生二次募集について 各教室の若干名の追加募集を致します。

期日：3月5日（木）～6日（金） 時間：午後1時～3時 会場：シルバー大学事務所

3. 講師会について 日時：3月30日（月）午後1時より 会場：大会議室

4. 写真教室展示会のお知らせ

期日：3月17日（火）～22日（日） 時間：9時～20時

会場：サンパール荒川 2F（初日は12時より最終日は15時まで）

（事務所）TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

室長 田原